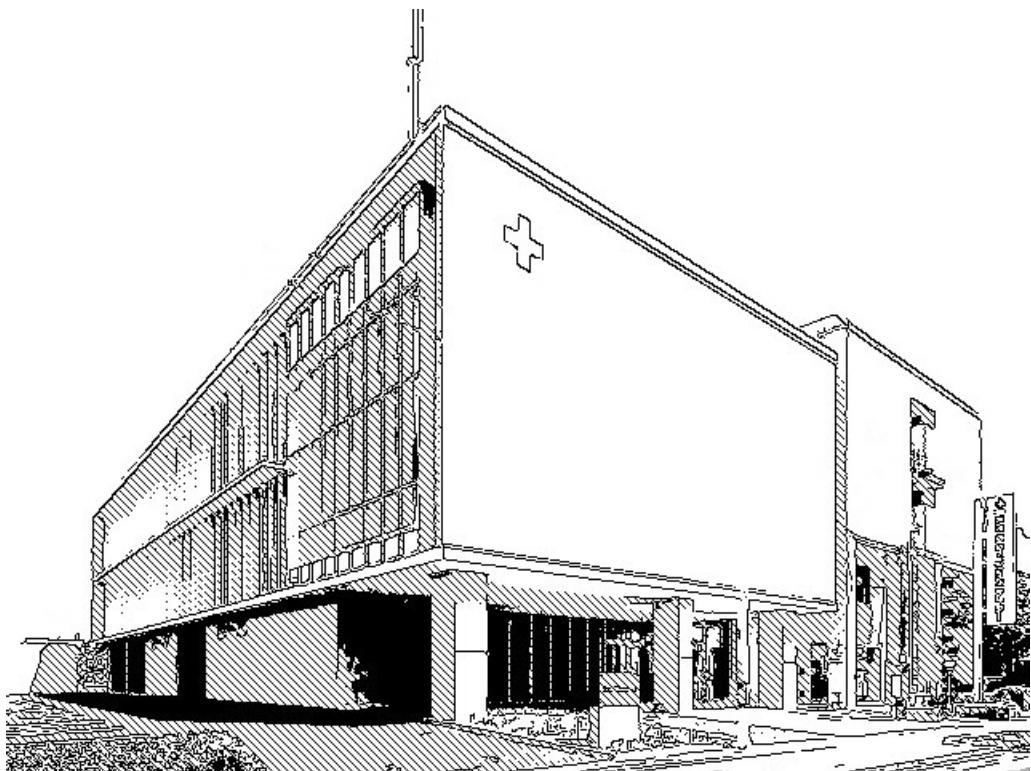


令和5年度
事業報告
一般会計歳入歳出決算報告



日本赤十字社岐阜県支部 社屋全景

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

I	はじめに～令和5年度をふりかえって～	1
II	令和5年度事業の実施状況	
1	災害救護	2
(1)	令和6年能登半島地震における対応	3
(2)	救護員の育成	5
(3)	救護員の登録・編成状況	6
(4)	救護資機材、救援物資の整備状況	6
(5)	防災ボランティアの養成状況	8
(6)	災害義援金の受付状況	8
(7)	防災・減災の取組み	9
2	講習普及事業	
(1)	救急法	11
(2)	水上安全法	13
(3)	健康生活支援講習	14
(4)	幼児安全法	16
(5)	指導員の養成・研修等の実施状況	17
3	赤十字奉仕団、ボランティアの活動	
(1)	奉仕団の活動状況	19
(2)	助成金交付状況	21
(3)	奉仕団別組織状況	21
(4)	会議及び研修会の開催	22
	(別表) 赤十字奉仕団現況表	24
4	青少年赤十字の活動	
(1)	活動概要	25
(2)	加盟校概要	27
(3)	トレーニング・センター等の実施状況	27
(4)	指導者対象の協議会、研修等の実施状況	28
	(別表) 岐阜県青少年赤十字加盟校一覧	29
5	国際活動	
(1)	発展途上国に対する開発計画援助	31
(2)	職員の派遣	31

(3) NHK海外たすけあいキャンペーン	31
(4) 国際人道法等の普及	31
(5) 海外救援金の受付状況	32
(6) 安否調査の実施	32
6 県内赤十字施設の運営と連携	
(1) 医療施設の運営	33
(2) 血液事業の推進	34
(3) 赤十字施設間会議の開催	35
(4) 監査及び予備監査の実施	36
7 看護師の養成	
(1) 赤十字看護師の養成	38
(2) 学生確保のための活動	38
8 赤十字思想の普及・広報	
(1) イベントの開催	39
(2) 広報資材の作成と配布	39
(3) メディアを活用した広報展開	40
9 会員と活動資金	
(1) 会員及び社資の状況	41
(2) 会員の拡充強化	42
(3) 岐阜県赤十字有功会	43
(4) 企業等とのパートナーシップ	44
(5) 表彰	45
10 役員・評議員	
(1) 岐阜県支部の組織	46
(2) 評議員会等の開催状況	46
11 人材育成	
(1) 職員研修の実施状況	48
(2) 職員の採用状況	49
III 令和5年度一般会計歳入歳出決算報告	51

IV 令和 5 年度岐阜県支部及び施設概況

1 岐阜県支部の組織

(1) 日本赤十字社本社（岐阜県支部関係）役員名簿	60
(2) 岐阜県支部役員名簿	60
(3) 岐阜県支部評議員名簿	61
(4) 岐阜県支部地区・分区長名簿	63
(5) 岐阜県支部地区・分区一覧表	65
2 施設概況	67
3 日本赤十字社の機構	68
4 日本赤十字社現勢	69

* 本事業報告中の取扱数等については、特別な記載がない限り、令和 6 年 3 月 31 日現在の数字となります。

I はじめに

I はじめに ~令和5年度をふりかえって~

赤十字事業の推進につきましては、会員、ボランティア、地区・分区、青少年赤十字加盟校関係者をはじめ、県民の皆様から深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

まずもって、令和6年1月1日に石川県能登地方において発生した大地震は、甚大な人的、物的被害をもたらしました。この地震により、改めて犠牲となられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、現在も避難生活を送られている方々など、全ての被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

この災害において、日本赤十字社では発災直後より、全国の支部、施設の職員が一丸となり「オール日赤」として、特に多くの被害が発生した石川県において、医療救護活動、こころのケア活動、救援物資の配達などの救援活動を実施いたしました。

岐阜県支部でも、日本赤十字社第3ブロック支部（石川、富山、福井、愛知、岐阜、三重、静岡、長野の8県）と連携し、特に被害が甚大であった珠洲市、輪島市、能登町へ、災害派遣医療チーム（DMAT）や医療救護班、災害医療コーディネートチーム等の派遣や毛布、安眠セットなどの救援物資支援を行ったほか、被災地医療機関支援のための看護師派遣を行いました。

赤十字の平時の事業では、このような大規模災害に備えて、日本赤十字社第3ブロック支部施設合同災害救護訓練への参加や、県内赤十字施設災害救護訓練を実施。また、地域の防災力向上を目指し、防災セミナーの開催や地区分区への災害救護資器材の整備を行い、災害救護体制の強化に努めました。

講習普及事業では、全ての講習受講者数がコロナ前の実績近くまで戻り、命と健康を守る技術と知識の普及に努めました。

血液事業においては、令和4年3月に「岐阜献血ルームアクティブG」がオープンし1年が経過いたしました。通学や通勤に利便性が良いこのルームにおいては、特に若年層に対しての献血協力の推進を図ってまいりたいと考えております。

医療事業においては、新型コロナウイルスの感染上の位置付けが5類へ移行したことにより、緊迫した対応状況は緩和されてまいりましたが、引き続き、地域の中核病院として地域医療に貢献してまいります。

一方で海外に目を転じますと、ウクライナやガザでの深刻な人道危機は終わりが見えない状況となっています。また、大規模地震や気候変動がもたらす災害も多発しています。このような世界規模の事業に対しては、国際的な赤十字組織と連携し、資金拠出、要員の派遣を引き続き続けてまいります。

今後も、赤十字に関わる全ての人々と手を携え、地域の皆様の期待と信頼に応えてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

II 令和5年度 事業の実施状況

II 令和5年度事業の実施状況

1 災害救護

岐阜県支部では、災害時の救援物資として、毛布、緊急セット、安眠セット、ブルーシート、災害用移動炊飯器、かんたんテントなどを、支部庁舎内の備蓄倉庫のほか、各市町村及び県内9カ所の拠点災害備蓄倉庫に配置しています。

災害時の医療救護体制については、災害救助法に基づく救助委託協定及び岐阜DMATの派遣に関する協定を岐阜県と締結し、災害拠点病院に指定されている高山赤十字病院と岐阜赤十字病院に、合計8個班の医療救護班と4個班のDMATを編成しています。

災害発生時に救護活動が迅速かつ的確に行えるよう日頃から訓練や研修を行い、体制を整えています。



第3ブロック支部合同災害救護訓練

愛知県内での水害発生を想定し、救護班の実動訓練を行った。高山赤十字病院救護班が参加し、避難所におけるアセスメントと巡回診療について訓練を行った。



第3ブロック支部合同災害救護訓練

愛知県内での水害発生を想定し、支部支援要員を派遣による本部支援について実動訓練を行った。被災市町村の保健医療福祉調整本部へのリエゾン派遣について訓練を行った。



支部災害対策本部設置訓練

降雨期の前に実施。発災時の対応手順を確認し、本部資機材を展開、支部災害対策本部の設置と運用訓練を行った。



支部施設合同災害救護訓練（本部運用）

県外からの支援受け入れを想定し、支部災害対策本部の運用訓練を、支部施設の救護要員および県内日赤災害医療コーディネートチームの参加を得て、訓練を行った。

(1) 令和6年能登半島地震における対応

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、当支部では、救護班等の派遣など、以下のとおり対応した。

ア 岐阜県支部からの派遣状況

(ア) 救護班 (DMAT 含む)

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
高山赤十字病院	5班	1/2～1/5	輪島市、七尾市	病院支援、患者搬送 (DMAT)
		1/13～1/16	珠洲市	巡回診療
		1/20～1/23		巡回診療/救護所対応
		2/6～2/9		
		2/22～2/25		
岐阜赤十字病院	4班	1/5～1/8	七尾市、能登町	避難所アセスメント
		1/29～2/1	珠洲市	巡回診療/救護所対応
		2/13～2/16		
		3/2～3/5	輪島市	巡回診療

(イ) 日赤災害医療コーディネートチーム

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
高山赤十字病院	2班	1/29～2/3	能登町	情報収集・活動調整
		3/9～3/14	輪島市	
岐阜赤十字病院	2班	1/8～1/11	七尾市	情報収集・活動調整
		2/19～2/22	珠洲市	

(ウ) 被災地医療機関の支援 (看護師派遣)

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
高山赤十字病院	2人	2/1～2/6	市立輪島病院	看護業務支援
		2/6～2/11		
岐阜赤十字病院	2人	1/17～1/22		看護業務支援
		2/6～2/11		

(エ) こころのケア班

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
岐阜赤十字病院	1班	2/17～2/22	七尾市役所	支援者支援
高山赤十字病院				

(オ) 災害対策本部支援等

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
岐阜県支部	7人	1/11～1/14	珠洲市	現地ロジスティクス支援
		1/30～2/3	石川県支部	本部支援活動
		2/13～2/16	珠洲市	現地ロジスティクス支援 (救護班帯同)
		3/3～3/9	石川県支部	本部支援活動
		3/3～3/10	石川県支部	こころのケア調整班
岐阜県赤十字 血液センター	1人	1/11～1/14	珠洲市	現地ロジスティクス支援

イ 救援物資の配布

配布元	配布日	配布先	配布内容
岐阜県支部	1/3	能登町	毛布 900 枚 安眠セット 150 セット



公立能登総合病院における本部活動

岐阜赤十字病院日赤災害医療コーディネートチーム



能登町における患者搬送

岐阜赤十字病院救護班



珠洲市立直小学校における避難所巡回診療

高山赤十字病院救護班



日本赤十字社石川県支部における本部支援活動

岐阜県支部職員

(2) 救護員の育成

① 訓練実施状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者(人)
ブロック	第3ブロック支部 合同災害救護訓練	令和5年11月17、18日	愛知県 名古屋市他	11
支部	支部施設合同災害 救護訓練	令和5年12月16日	支部大会議室	38
	支部災害対策本部 設置訓練	令和5年6月14、16日	支部事務室	16

② 研修会開催状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者(人)
本社	日赤災害医療 コーディネート研修会	令和5年9月23、24日	本社	2
支部	こころのケア指導者 研修会	令和6年3月6日	オンライン開催	※中止

※令和6年能登半島地震対応のため中止

③会議開催状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者(人)
ブロック	第3ブロック支部 事業推進課長会議	令和5年5月15日	愛知県 (オンライン開催)	1
	ブロック訓練打合せ会	令和5年9月27、28日	愛知県 名古屋市 (参集・WEB)	2
支部	支部施設災害救護対応 検討会 (第1回)	令和5年5月25日	オンライン開催	12
	(第2回)	令和5年8月30日	オンライン開催	13
	(第3回)	令和5年12月4日	オンライン開催	12
	こころのケア指導者 連絡会 (第1回)	令和5年6月22日	オンライン開催	8
	(第2回)	令和5年12月21日	オンライン開催	9

(3) 救護員の登録・編成状況

○常備救護班編成数及び要員数 ※救護班は、1班7人で編成

区分 施設名	常備 救護 班 (班)	常備救護班内訳(人)						災害対策本部要員 (人)	血液供給要員 (人)
		医師	看護師長	助産師	薬剤師	主事	計		
高山赤十字病院	5	5	5	10	5	10	35	2	/
岐阜赤十字病院	3	3	3	6	3	6	21	2	/
岐阜県赤十字血液センター	/	/	/	/	/	/	/	4	2
岐阜県支部	/	/	/	/	/	/	/	11	/
計	8	8	8	16	8	16	56	19	2

(4) 救護資機材、救援物資の整備状況

①大規模災害に備えた拠点災害備蓄倉庫

県下5圏域10箇所に設置した拠点災害備蓄倉庫に救援物資を備蓄し、災害時ににおける被災者への迅速な支援体制を整えている。

ア) 拠点災害備蓄倉庫設置場所

圏域	場所	
岐阜圏域	岐阜市	日本赤十字社岐阜県支部
西濃圏域	大垣市	西濃総合庁舎敷地内
	揖斐川町	揖斐総合庁舎敷地内
中濃圏域	美濃加茂市	可茂総合庁舎敷地内
	美濃市	中濃総合庁舎敷地内
	郡上市	郡上総合庁舎敷地内
東濃圏域	多治見市	東濃西部総合庁舎敷地内
	恵那市	恵那総合庁舎敷地内
飛騨圏域	高山市	飛騨総合庁舎敷地内
	下呂市	下呂総合庁舎敷地内

イ) 救援物資整備現況

設置場所		毛布	緊急 セット	ブルー シート	安眠 セット	タオル ケット	簡易 テント	災害用移動 炊飯器
		(枚)	(セット)	(枚)	(セット)	(枚)	(張)	(台)
岐阜	支部	2,970	211	1,340	372	2,020	5	3
西濃	西濃庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	揖斐庁舎	400	60	200	144	100	1	1
中濃	可茂庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	中濃庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	郡上庁舎	400	60	200	144	100	1	1
東濃	東濃西部庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	恵那庁舎	400	96	500	144	100	1	1
飛騨	飛驒庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	下呂庁舎	500	60	200	144	100	1	1
計		6,670	895	4,340	1,668	2,920	14	12

②災害救援車両等の配備

各地区分区に災害救援車両を配備しているほか、災害用移動炊飯器、テント、災害備蓄倉庫を配備し、地域における災害救護体制強化を図っている。



地区分区に配備している災害救援車両

○令和5年度配備状況

品名	配備先		
	地区名	分区名	
災害救援車両 (6台)	羽島市地区	1台	大野町分区 1台
	恵那市地区	1台	富加町分区 1台
	土岐市地区	1台	
	郡上市地区	1台	
	計 4台		計 2台
災害用 移動炊飯器 (6台)	岐阜市地区	3台	揖斐川町分区 3台
		計 3台	計 3台
テント (8張)	岐阜市地区	5張	揖斐川町分区 1張
	高山市地区	2張	
	計 7張		計 1張

災害備蓄倉庫 (1棟)	七宗町分区	1棟
		計 1棟

③ り災者への支援活動

小規模な災害、火災などによるり災者に対し、毛布や緊急セット、お見舞い金の支給など、災害時に準じた対応を行った。

○お見舞の状況（救援物資及びお見舞金）

対象世帯	対象人数	救援物資送付数			お見舞金
		毛布	緊急セット	安眠セット	
40世帯	102人	80枚	34セット	0セット	110,000円

（5）防災ボランティアの養成状況

① 赤十字防災ボランティアの養成

赤十字精神を理解し岐阜県支部の災害救護活動をサポートする防災ボランティアを新たに9名養成し、現在74名の赤十字防災ボランティアを登録している。

○赤十字防災ボランティア登録人数 (単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
67	65	63	65	74

②防災ボランティアのためのこころのケア研修の実施

ボランティアの方々が、被災地での活動を安全に実施できるように、きめ細かなこころのケアの提供と自己管理を含めた対処法を学ぶ「防災ボランティアのためのこころのケア研修」を実施した。

実施月日	場所	受講者（人）
令和5年 9月 27日	日本赤十字社岐阜県支部	9
令和5年 10月 18日	高山赤十字病院	4

（6）災害義援金の受付状況

国内の被災者を支援する義援金の募集を下表のとおり行い、多くの方々からのご支援をいただいた。これらの義援金は、日本赤十字社本社を通して、各被災県の義援金配分委員会に全額送金した。

義援金名	件数	金額（円）
令和5年5月能登地方地震災害義援金	120	720,310
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	73	196,532
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	69	326,180
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	150	758,563
令和5年台風第6号災害義援金	59	77,086
令和5年台風第13号災害義援金	85	429,804
令和6年能登半島地震災害義援金	1,589	265,554,205
合 計	2,145	268,062,680

(7) 防災・減災の取組み

① 防災教育事業の実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害から命を守り、災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に、災害への備えについての説明や災害図上訓練（DIG）などの防災教育事業を次のとおり実施した。

対象	実施回数	受講者数
赤十字関係者	21	559
学校・JRC関係者	10	463
町内会・自治会等	14	302
地区分区	0	0
行政／社協	4	78
企業／団体	2	38
その他	0	0
合計	51	1,440

カリキュラム	実施回数
災害への備え	48
災害エスノグラフィー	1
災害図上訓練（DIG）	2
家具安全対策ゲーム（KAG）	11

※1日に複数のカリキュラムを実施した場合は、各カリキュラムに1回計上

② 防災教育事業指導者の養成

防災教育事業を推進するため、指導者養成研修を開催し指導者を12名養成した。
現在31名の指導者（職員11名、ボランティア20名）が県内で活動している。

実施月日	研修名	開催場所	参加者 (人)
令和5年8月5、6日	日本赤十字社防災教育 事業指導者養成研修	支部	12

2 講習普及事業

地域住民の皆さんに、生命と健康を守り、安全で心豊かな生活を営んでいただくために、各種講習会を実施しています。令和5年度も以下の講習を開催いたしました。

(1) 救急法

日常生活における事故の防止の他、意識障害・呼吸停止・心停止などただちに手当しないと生命の危険がある傷病者に行う一次救命処置（胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使用方法等）や止血のしかた、包帯（三角巾）の使い方、骨折の手当、搬送、災害時の心得などに関する知識と技術を広く普及するため、各種講習会を開催した。

① 支部主催講習

ア) 基礎講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和5年 4月 16日	日本赤十字社岐阜県支部	14	14
令和5年 5月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	17	17
令和5年 6月 11日	日本赤十字社岐阜県支部	14	14
令和5年 7月 16日	日本赤十字社岐阜県支部	13	13
令和5年 8月 2日	高山赤十字病院	16	16
令和5年 10月 22日	日本赤十字社岐阜県支部	20	20
令和5年 12月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	16	16
令和6年 1月 14日	日本赤十字社岐阜県支部	18	18
令和6年 2月 4日	日本赤十字社岐阜県支部	15	15
令和6年 3月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	16	16
計	10回	159	159

イ) 救急員養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和5年5月4、5日	日本赤十字社岐阜県支部	16	16
令和5年7月23、30日	日本赤十字社岐阜県支部	12	12
令和5年8月16、17日	高山赤十字病院	16	16
令和5年12月10、17日	日本赤十字社岐阜県支部	20	20
令和6年2月11、18日	日本赤十字社岐阜県支部	17	17
計	5回	81	81

② 支部主催以外の講習

ア) 基礎講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	4	2	1	4	5	0	16
受講者(人)	63	22	10	35	157	0	287
認定証交付者 (人)	63	22	10	35	157	0	287

イ) 救急員養成講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	2	1	0	2	3	0	8
受講者(人)	29	7	0	9	139	0	184
認定証交付者 (人)	29	7	0	9	139	0	184

ウ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	24	21	81	16	68	1	211
受講者(人)	738	526	3322	372	3,460	10	8,428

(2) 水上安全法

水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本や自己保全・事故防止、溺者の救助方法、応急手当の方法などを学ぶ講習会を開催した。

①支部主催講習

ア) 救助員Ⅰ養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和5年 6月 18日 25日 7月 2日	各務原市民プール	15	12
計	1回	15	12

②支部主催以外の講習

ア) 救助員Ⅰ養成講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	0	2	0	0	2
受講者(人)	0	0	0	23	0	0	23

イ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	12	0	0	0	12
受講者(人)	0	0	838	0	0	0	838

(3) 健康生活支援講習

高齢期を健やかに過ごすため、高齢者の健康と安全、介護予防、地域における高齢者支援、自立をめざした介護の方法などを学ぶ講習会を開催した。

また、短期講習として、「災害時高齢者生活支援講習」、「こころとこころの架け橋講習」などの講習を実施した。



短期講習で健康体操を行っている様子

①支部主催講習会

ア) 支援員養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者(人)
令和5年7月10、11、18日	岐阜赤十字病院	16	14
令和5年7月13、14、20日	高山赤十字介護老人保健施設 はなさと	1	1
令和5年10月8、15日	日本赤十字社岐阜県支部	2	2
令和6年2月19、20、26日	岐阜赤十字病院	4	4
計	4回	23	21

イ) 短期講習

○災害時高齢者生活支援講習

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和5年6月28日	日本赤十字社岐阜県支部	4
令和5年8月3日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	7
令和6年1月17日	日本赤十字社岐阜県支部	5
計	3回	16

○癒しのハンドケア講習及びリラクゼーション講習

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和5年4月19日	日本赤十字社岐阜県支部	8
令和5年8月7日	岐阜赤十字病院	5
令和5年9月14日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	11
令和5年11月19日	日本赤十字社岐阜県支部	5
計	4回	29

○こころとこころの架け橋講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和5年10月12日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	2
令和6年1月18日	日本赤十字社岐阜県支部	4
計	2回	6

○地域で支える認知症

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和5年10月3日	岐阜赤十字病院	9
令和5年11月15日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	9
計	2回	18

②支部主催以外の講習

ア) 支援員養成講習

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的 団体	その他	計
回数	0	1	0	0	0	0	0	1
受講者 (人)	0	10	0	0	0	0	0	10

イ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的 団体	その他	計
回数	8	29	1	0	1	9	1	49
受講者 (人)	180	583	30	0	13	338	35	1,179

③地域包括ケア事業への取組み

健康生活支援講習を通じて、生活支援や介護予防の担い手を育成し、地域の自助と互助の力を高めることにより、可能な限り住み慣れた地域で元気に暮らすための仕組みづくり（地域包括ケアシステム）に取り組んでいる。

令和5年度は、コロナ下以前に開かれていた奉仕団4分団に対し、講習会を通じて、活動に必要な知識、技術の習得と、活動に向けて話し合いを行った。岐阜市早田分団は地域サロンの実施、長森西分団は校区小学校の清掃や小学生との交流を中心とした活動を行った。大垣市川並分団は、いきいきサロンへの協力と住民セミ

ナーの開催、東分団は施設ボランティアなどの取組みを行った。

(4) 幼児安全法

子どもが健康で安全に育つことを願って、子どもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、子どもの病気と看病のしかたについて学ぶ講習会を開催した。

また、子育て中の保護者や家族、保育従事者及び子育て支援者等への講習を普及拡大するため、「すくすく子育てサポート講習」（短期講習）を実施した。

① 支部主催講習

ア) 支援員養成講習

実施月日	実施場所	受講者(人)	認定証交付者(人)
令和5年 6月 5、13日	岐阜赤十字病院	12	12
令和5年 6月 22、29日	高山赤十字病院	3	3
令和5年 9月 3、10日	日本赤十字社岐阜県支部	8	8
計	3回	23	23

イ) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和5年 6月 8日	高山赤十字病院	4
令和5年 7月 1日	岐阜赤十字病院	3
令和5年 7月 12日	高山赤十字病院	4
令和5年 10月 28日	日本赤十字社岐阜県支部	4
令和5年 11月 11日	日本赤十字社岐阜県支部	3
計	5回	18

ウ) 子育て支援ボランティア養成講座

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和5年 6月 30日	高山赤十字病院	3
令和5年 9月 15日	日本赤十字社岐阜県支部	3
計	2回	6

②支部主催以外の講習

ア) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	幼稚園 保育園	企業	公的 団体	その他	計
回数	0	0	0	0	10	2	32	6	50
受講者(人)	0	0	0	0	182	6	623	74	885

(5) 指導員の養成・研修等の実施状況

①指導員登録状況

各種講習の内容を広く一般に普及するための知識と技術を有した指導員（ボランティア）を登録し、県内の講習普及の担い手として活動していただいている。

(単位：人)

講習種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
救急法指導員	94	91	93	97	97
水上安全法指導員	11	11	11	10	10
健康生活支援講習指導員	68	68	67	65	70
幼児安全法指導員	33	32	31	36	36

②指導員研修の実施

各講習の更新事項の伝達などを内容とした研修を指導員に対し毎年実施しており、令和5年度は次のとおり開催した。

ア. 救急法等指導員研修

開催方法	書面開催
内容	講習事業の方針伝達

イ. 幼児安全法指導員研修

開催方法	書面開催
内容	講習事業の方針伝達

ウ. 健康生活支援講習指導員研修

開催日	① 令和6年3月12日 ② 令和6年3月15日 ③ 令和6年3月18日 ④ 令和6年3月21日
会場	① ③ ④岐阜赤十字病院 ② 高山赤十字病院

参 加 者 数	① 12 人 ② 12 人 ③ 10 人 ④ 10 人
内 容	講習事業の方針及び技術指導

③指導員養成講習の開催

赤十字の理念と使命を理解し、講習普及に尽力できる十分な知識と技術を持った実働的な指導員を養成するため、健康生活支援講習の指導員養成講習を開催した。

健康生活支援講習指導員養成講習

開催日程	説明会・事前研修会 令和5年10月22日 養成講習会 令和5年10月23日、11月16、17、23、24日 新任指導員研修会 令和6年3月24、25日
会 場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	6人
修了者数	6人

3 赤十字奉仕団、ボランティアの活動

赤十字奉仕団は、人道・博愛に基づく赤十字理念の実践者としてボランティア活動を行い、赤十字事業の根幹を支えています。

県内では、全市町村に組織されている「地域赤十字奉仕団」42団、社会人や学生などで組織される「青年赤十字奉仕団」2団、アマチュア無線技術や赤十字救急法指導員資格を有する方、健康生活指導員資格を持つ看護師経験者、青少年赤十字加盟校での指導実績を持つ教員経験者などで組織され、それらの技術や資格を活かした奉仕活動を行う「特殊赤十字奉仕団」7団が活動しています。

(1) 赤十字奉仕団の活動状況

① 地域赤十字奉仕団

地域奉仕団は現在、県下全ての市町村で組織されており、地域の実情に即した活動を実施している。令和5年度は、奉仕団県下統一事業として実施している在宅高齢者訪問事業や、地域の清掃活動などの従来の活動に加え、炊き出し訓練やダンボールベッドの組み立て訓練など、防災に関する事業を展開している団が多くみられた。

また、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震への対応として、義援金の募集や街頭募金を実施した団も多くみられた。

○ 奉仕団県下統一事業

事業名	対象	実施人数 (人)	実施日
在宅高齢者訪問事業	地域の高齢者の方	11,838	令和5年7月7日前後 または 令和5年11月3日前後



感染対策を徹底し、炊き出し訓練を実施
(美濃加茂市赤十字奉仕団ほか)



ダンボールベッドの組み立てなどの防災研修
(養老町赤十字奉仕団ほか)



ショッピングセンターなどで募金活動を行う奉仕団員
(大垣市赤十字奉仕団ほか)

②青年赤十字奉仕団

社会人で構成される青年赤十字奉仕団は、献血推進や募金活動の他、赤十字事業に関連した諸活動を行っている。

令和5年度は、毎月の定例会の実施に加えて、救急法講習会の受講、包装食袋を使用した炊き出し訓練を実施した。

また、福井県支部にて開催された令和5年度第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議に2名が参加し、他県の奉仕団との交流を行った。



③特殊赤十字奉仕団

ア) 無線奉仕団

アマチュア無線赤十字奉仕団が岐阜、高山、中津川、下呂を拠点として活動しており、特に災害時の緊急通信の補助として、音声交信のみならず、映像配信などの技術力を駆使したリアルな情報を災害対策本部等に配信できるよう訓練活動をしている。令和5年度は全国非常無線通信訓練に複数回参加し、非常時の通信確保に努めている。

イ) 安全奉仕団

赤十字の講習指導員により結成された奉仕団で、より良い講習普及活動をめざし、情報交換や指導技術の研鑽などを行い、支部事業の支援活動を実施している。令和5年度は、スキルアップセミナーを開催し団員の知識と技術の向上を図ったほか、講習資機材のメンテナンスを実施した。

ウ) 看護奉仕団

赤十字病院看護師又は退職看護師である健康生活支援講習指導員を中心に結成されている。看護の知識と技術及び講習指導員の経験を活かし、地域での高齢者支援活動や支部事業の支援を計画した。令和5年度は、講習普及活動や岐阜赤十字病院まつりで来場者にリラクゼーションを実施し、地域住民との交流を行った。

エ) 青少年赤十字賛助奉仕団

小・中・高等学校などで、青少年赤十字の指導にあたられた教員経験者で構成され、青少年赤十字の発展・普及を支援している。

令和5年度は、青少年赤十字作品コンクールの「書」「絵画」作品を審査した。

(2) 助成金交付状況

種類	団数(団)	金額(円)
地域奉仕団運営助成金	41	1,263,890
特殊奉仕団運営助成金	6	190,997
県下統一事業助成金	30	4,102,153
炊き出し活動助成金	20	234,066
病院ボランティア活動助成金	2	43,680
新設及び創立記念事業助成金	2	121,021
赤十字奉仕団活動推進助成金	7	261,379
JRC 賛助奉仕団活動助成金	1	30,580
計		6,247,766

(3) 奉仕団別組織状況

種別	団数	分団数	班数	団員数(人)		
				男	女	合計
地域	42	185	133	291	7,412	7,703
青年	2	0	0	5	5	10
特殊	6	4	4	114	29	143
賛助	1	0	0	21	2	23
合計	51	189	137	431	7,448	7,879

(内訳 P.24 別表 赤十字奉仕団現況表のとおり)

(4) 会議及び研修会の開催

①会議の開催

ア) 本社主催

開催日	事業名	開催場所	参加者(人)
令和5年6月1・2日	赤十字奉仕団中央委員会	本社	1
令和5年7月11・12日	全国JRC賛助奉仕団協議会総会	本社	1

イ) ブロック主催

開催日	会議名	開催場所	参加者(人)
令和5年6月10・11日	第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議	福井県支部	3
令和5年6月19・20日	第3ブロックJRC賛助奉仕団連絡協議会	長野県支部	2
令和5年9月6・7日	第3ブロック赤十字奉仕団委員長並びに担当者会議	岐阜県支部	3

ウ) 支部主催

開催日	会議名	開催場所	参加者(人)
令和5年4月27日	地域赤十字奉仕団委員長会議	OKBふれあい会館	41
令和5年6月7日	JRC賛助奉仕団第1回役員会	岐阜県支部	6
令和5年6月7日	JRC賛助奉仕団総会	岐阜県支部	6
令和5年10月11日		恵那総合庁舎	8
令和5年10月17日		飛騨総合庁舎	8
令和5年10月25日		揖斐総合庁舎	12
令和5年10月31日		大垣市総合福祉会館	9
令和5年11月2日		岐阜県支部	13
令和5年11月14日		中濃総合庁舎	28
		計6会場	78
令和6年2月21日	JRC賛助奉仕団第2回役員会	岐阜県支部	5
令和6年3月	赤十字奉仕団岐阜県支部委員会	書面開催	10

②研修会の開催

○支部主催

開催日	研修会名	開催場所	参加者 (人)
令和 5 年 6 月 23 日	基礎研修会	揖斐総合庁舎	28
令和 5 年 6 月 30 日		大垣市総合福祉会館	23
令和 5 年 7 月 3 日		恵那総合庁舎	15
令和 5 年 7 月 6 日		中濃総合庁舎	40
令和 5 年 7 月 11 日		飛騨総合庁舎	21
令和 5 年 7 月 13 日		岐阜県支部	31
令和 5 年 7 月 26 日		岐阜県支部	20
		計 7 会場	160
令和 5 年 10 月 11 日	災害支援研修会	恵那総合庁舎	4
令和 5 年 10 月 17 日		飛騨総合庁舎	17
令和 5 年 10 月 25 日		揖斐総合庁舎	26
令和 5 年 10 月 31 日		大垣市総合福祉会館	25
令和 5 年 11 月 2 日		岐阜県支部	25
令和 5 年 11 月 8 日		岐阜県支部	33
令和 5 年 11 月 14 日		中濃総合庁舎	28
		計 7 会場	158
令和 5 年 11 月 29 日	炊き出し指導員養成講習会	岐阜県支部	17
令和 6 年 2 月 15 日	リーダーシップ研修会	シティホテル美濃加茂	※中止
令和 5 年 2 月 20 日		ホテルグランヴェール岐山	※中止

※令和 6 年能登半島地震対応のため中止

(別表) 赤十字奉仕団現況表

奉仕団名	分団数	班数	団員数(人)		
			男	女	計
1 岐阜市	48	0	48	1,292	1,340
2 大垣市	20	0	6	1,268	1,274
3 高山市	4	0	7	170	177
4 多治見市	3	18	0	95	95
5 関市	10	0	0	316	316
6 中津川市	5	0	36	244	280
7 美濃市	0	15	0	273	273
8 瑞浪市	7	0	0	163	163
9 羽島市	0	0	0	29	29
10 恵那市	3	0	0	145	145
11 美濃加茂市	0	0	0	92	92
12 土岐市	9	0	0	174	174
13 各務原市	0	0	124	92	216
14 可児市	12	0	9	185	194
15 山県市	3	5	14	82	96
16 瑞穂市	7	0	0	85	85
17 本巣市	0	2	0	23	23
18 飛騨市	2	5	0	71	71
19 郡上市	7	0	9	192	201
20 下呂市金山	4	0	0	102	102
21 海津市	5	0	4	58	62
22 岐南町	0	0	1	22	23
23 笠松町	3	0	0	138	138
24 養老町	0	0	0	85	85
25 垂井町	7	0	0	94	94
26 関ヶ原町	0	0	0	10	10
27 神戸町	4	16	0	92	92
28 輪之内町	0	0	10	14	24
29 安八町	0	0	2	7	9
30 揖斐川町	6	42	1	456	457
31 大野町	0	0	0	94	94
32 池田町	6	0	3	308	311
33 北方町	0	0	0	24	24
34 坂祝町	0	15	0	109	109
35 富加町	0	0	0	25	25
36 川辺町	0	4	0	66	66
37 七宗町	0	11	2	68	70
38 八百津町	6	0	8	118	126
39 白川町	0	0	3	228	231
40 東白川村	0	0	4	240	244
41 御嵩町	4	0	0	55	55
42 白川村	0	0	0	8	8
合 計	185	133	291	7,412	7,703

奉仕団名	分団数	班数	団員数(人)		
			男	女	計
1 岐阜青年	0	0	5	5	10
2 中部学院	0	0	0	0	0
合 計	0	0	5	5	10

奉仕団名	分団数	班数	団員数(人)		
			男	女	計
1 岐阜無線	0	0	10	1	11
2 高山無線	0	4	15	0	15
3 中津川無線	0	0	29	1	30
4 下呂無線	4	0	45	2	47
5 安全奉仕団	0	0	15	12	27
6 看護奉仕団	0	0	0	13	13
7 青少年赤十字 賛助奉仕団	0	0	21	2	23
合 計	4	4	135	31	166

	男	女	計
総合計	431人	7,448人	7,879人

4 青少年赤十字の活動

生命と健康を大切にする【健康・安全】、人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する【奉仕】、広く世界の青少年を知り、仲良く助けあう精神を養う【国際理解・親善】の3つの実践目標を掲げ、「気づき、考え、実行する」という自主・自立の態度目標に基づき、園児・児童生徒の発達段階や学校内外の実情に応じた様々な活動に取り組んでいます。

(1) 活動概要

① JRC未来応援プロジェクト活動助成事業

青少年赤十字の実践目標のほか、防災、SDGsに関する様々な体験活動をとおして「気づき・考え・実行する」姿勢を育む活動を応援し、その活動の輪を広げるために35校（園）に活動助成金を交付した。

【未来応援プロジェクト指定校】

山県市立伊自良北小学校	郡上市立高鷲小学校	郡上市立郡南中学校
高山市立東小学校	みたけ幼稚園	ながもり第二幼稚園
うぬま第一幼稚園	岐阜市立常磐小学校	岐阜市立長良東小学校
瑞穂市立西小学校	岐南町立北小学校	大垣市立中川小学校
養老町立日吉小学校	郡上市立大和西小学校	郡上市立牛道小学校
郡上市立大中小学校	郡上市立北濃小学校	多治見市立養正小学校
中津川市立落合小学校	飛騨市立宮川小学校	下呂市立馬瀬小学校
下呂市立竹原小学校	岐阜市立藍川北中学校	山県市立高富中学校
山県市立伊自良中学校	大垣市立東中学校	大垣市立江並中学校
揖斐川町立揖斐川中学校	郡上市立高鷲中学校	白川町立黒川中学校
羽島市立桑原学園	岐阜県立大垣桜高等学校	聖マリア女学院中学校・高等学校
高山西高等学校	岐阜県立下呂特別支援学校	

②青少年赤十字作品コンクールの開催

赤十字活動に対する関心を高めることを目的に、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」などに関する「書」「絵画」の作品を県内青少年赤十字加盟校（園）のメンバーから募集し、入賞作品（優秀賞除く）を、県内10カ所において展示し、広く県民に披露した。

【応募数ならびに参加校（園）数】

	書の部	絵画の部
応募数	2,000点	488点
参加校(園)	170校	63校(園)

【展示会場】

カラフルタウン岐阜	イオンモール各務原インター
美濃加茂市民ミュージアム	大垣市役所
瑞浪市役所	高山赤十字病院
岐阜赤十字病院	岐阜県赤十字血液センター
日本赤十字社岐阜県支部	岐阜駅アクティブ G (献血ルーム前)

③国際交流事業

岐阜県支部においては、平成 19 年度から愛知県支部とともに、モンゴル赤十字社との国際交流を進めており、外国の子どもたちと会話をし、文化の違いを感じる体験を通じ、自分自身や自国を見つめ直す機会としている。令和 5 年度は、モンゴル青少年赤十字メンバーを日本に迎え交流会を開催した。

【開催概要】

開 催 日	令和 5 年 7 月 15 日、16 日
会 場	愛知県美浜少年自然の家
参 加 者	モンゴル国、岐阜県、愛知県 JRC メンバー計 19 人 ※岐阜県からは大垣市立東中学校、郡上市立高鷲中学校のメンバー 2 名が参加
内 容	各国の文化や学校生活の発表 ウェルカムパーティーや宿泊研修、有松絞り体験

④ワンタッチテントの贈呈

青少年赤十字加盟校への支援の一つとして防災対策の強化や各種行事に活用してもらうため、ワンタッチテント（3m×3m）1 張を令和 4 年度新規加盟校等 17 校（園）に贈呈した。

【贈呈実績】



ワンタッチテント贈呈式を開催
(こばと第三幼稚園)

平成 26 年度	273 校（園）
平成 28 年度	163 校（園）
平成 30 年度	40 校（園）
令和 元年度	88 校（園）
令和 2 年度	50 校（園）
令和 3 年度	29 校（園）
令和 4 年度	29 校（園）
令和 5 年度	17 校（園）

⑤広報資材の作成

資 材 名	数 量
青少年赤十字岐阜	1,000 部

(2) 加盟校概要

①加盟状況

	令和4年度		令和5年度		
	加盟校(園)数	メンバー数(人)	加盟校(園)数	メンバー数(人)	
幼稚・保育園	59	5,184	62	5,741	
小学校	359	99,921	351	96,001	全校加盟
中学校	182	53,452	181	51,868	全校加盟
義務教育学校 (令和元年度から前期・後期を合算し計上)	4	1,208	6	2,806	全校加盟
高等学校等	47	24,571	48	24,574	
特別支援学校	23	2,624	23	2,599	全校加盟
合計	674	186,960	671	183,589	

(P.29、30 別表岐阜県青少年赤十字加盟校一覧参照)

②令和5年度新規加盟校(園)

幼稚園等	平島学園 こじか幼稚園 那加学園 子苑第一幼稚園 北方町立こども園	羽島市立西部幼稚園 那加学園 子苑第二幼稚園 坂祝町立坂祝幼稚園
義務教育学校	北方町立北学園	北方町立南学園
高等学校	岐阜県立加納高等学校	松翠学園 岐阜女子高等学校

(3) トレーニング・センター等の実施状況

①本社主催

開催日	研修会名	会場	参加者(人)
令和5年 5月 26~28日	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	青少年総合センター(東京都)	1
令和6年 1月 12日	指導主事対象青少年赤十字研究会	本社(東京都)	1
3月 22~26日	スタディー・センター	東照館 (山梨県)	2

②支部主催

開催日	研修会名	会場	参加者(人)
7月 31日	リーダーシップ・トレーニング・センター	岐阜県支部	9

(4) 指導者対象の協議会、研修等の実施状況

①本社主催

開催日	会議名	会場	出席者(人)
令和5年 4月6日	支部担当者説明会	Web会議 (岐阜県支部)	2
6月30日	全国指導者協議会総会・研修会	本社 (東京都)	1

②ブロック主催

開催日	会議名	会場	出席者(人)
令和5年 6月2日	指導者協議会長及び支部 担当者研究会	Web会議 (池辺小・岐阜県支部)	3

③支部主催

開催日	会議名	会場	出席者(人)
令和5年 6月6日	指導者協議会第1回役員会	岐阜県支部	5
6月6日	指導者協議会総会	岐阜県支部	43
8月1日	指導者養成講習会	岐阜県支部	11
令和6年 2月20日	指導者協議会第2回役員会	岐阜県支部	4

(別表) 岐阜県青少年赤十字加盟校一覧

小学校	中学校	小学校	中学校	公立高等学校	特別支援学校	幼稚園・保育園・こども園等	
中津川市		下呂市		岐阜	岐阜盲	岐阜市立加納幼稚園	擁童協会大野こども園
南	第一	萩原	萩原南	岐阜北	岐阜聾	岐阜市立岐阜東幼稚園	樹心会豊木認定こども園
東	第二	宮田	萩原北	長良	長良	羽島市立西部幼稚園	慈光会認定こども園うぐいす
西	苗木	尾崎	小坂	加納	岐阜希望が丘	坂祝町立坂祝幼稚園	大野町社会福祉協議会東さくらこども園
苗木	坂本	小坂	下呂	羽島北	岐阜本巣	瑞浪市立瑞浪幼稚園	池田こども園
坂本	落合	下呂	竹原	岐阜総合学園	岐阜清流高等	瑞浪市立稻津幼稚園	鵜沼東保育所
落合	阿木	竹原	金山	岐阜商業(県)	羽島	瑞浪市立桔梗幼稚園	認定こども園 庭田保育園
阿木	神坂	上原		岐阜商業(定期)	揖斐	瑞浪市立陶幼稚園	池辺育心会 池辺こども園
神坂	坂下	金山		各務原	大垣	瑞浪市立竜吟幼稚園	池田町立宮地保育園
山口	加子母	馬瀬		岐阜農林	西濃高等	瑞浪市立日吉幼稚園	池田町立温知保育園
坂下	付知			岐阜商業(市)	海津	瑞浪市立みどり幼稚園	池田町立西保育園
川上	福岡	義務教育学校		揖斐	郡上	瑞浪市立一色幼稚園	組合立養基保育園
加子母	蛭川	岐阜大学教育学部附属		桑原学園	関	中部学院大学短期大学部附属幼稚園	八百津保育園
付知北				根尾学園	中濃	こばと第3幼稚園	錦津保育園
付知南				北学園	可茂	まどか幼稚園	久田見保育園
福岡				南学園	東濃	長森幼稚園	光の子保育園
蛭川				上石津学園	大垣桜	ながもり第二幼稚園	上之郷保育園
高山市		白川郷学園		海津明誠	恵那	天使幼稚園	中保育園
東	日枝	私立小学校		郡上	下呂	こじか幼稚園	伏見保育園
西	松倉	岐阜聖徳学園大学附属		関	飛騨	岐阜聖徳学園大学附属幼稚園	御嵩保育園
南	中山			加茂	高山日赤分校	美鳩幼稚園	
北	東山	帝京大学可児		加茂農林	飛騨吉城	中部学院大学短期大学部桐が丘幼稚園	
山王	丹生川			八百津	(市立) 岐阜	子苑第一幼稚園	
江名子	清見	私立中学校		可児工業	(市立) 各務原	子苑第二幼稚園	
新宮	莊川	岐阜聖徳学園大学附属		瑞浪		うぬま第一幼稚園	
三枝	宮			麗澤瑞浪		みたけ幼稚園	
岩滝	久々野	聖マリア女学院		東濃フロンティア		北方町立こども園	
花里	朝日			中津		養老町立日吉こども園	
丹生川	国府	帝京大学可児		中津川工業		恵那市立城ヶ丘こども園	
清見	北稜			岐阜東		恵那市立大井こども園	
莊川		多治見西高校附属		益田清風		恵那市立おしま二葉こども園	
宮				鶯谷		恵那市立やまびここども園	
久々野				飛騨高山		恵那市立東野こども園	
朝日				美濃加茂		恵那市立みさとこども園	
国府				西濃学園		恵那市立武並こども園	
本郷						恵那市立中野方こども園	
柄尾						恵那市立飯地こども園	
飛騨市		私立高等学校		鶯谷		恵那市立岩村こども園	
古川	古川	岐阜聖徳学園		啓晴		恵那市立山岡こども園	
古川西	神岡	聖マリア女学院		ぎふ国際		恵那市立明智こども園	
河合	山之村					恵那市立串原こども園	
宮川		岐阜女子				恵那市立上矢作こども園	
神岡		大垣日本大学					
山之村		帝京大学可児					
		麗澤瑞浪					
		高山西					
		西濃(久瀬校)					

5 国際活動

紛争や災害で苦しむ人々を救うために、医療救援や衣食住の支援等を行っている。

(1) 発展途上国に対する開発計画援助

第3ブロック支部合同による国際活動事業として、シリア難民支援事業、東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業及びアジア・大洋州給水・衛生キット支援事業に対して、資金の拠出を行った。

項目	金額（円）	備考
シリア難民等水衛生管理事業	840,000	第3ブロックとして、3事業で20,000千円を拠出
東アフリカ地域保健強化事業	630,000	
アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業	630,000	
計	2,100,000	

(2) 職員の派遣

岐阜県支部管内からの国際救援活動にかかる派遣実績はなかった。

(3) NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する災害や紛争等による被災者等への緊急救援、保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業を日本赤十字社が実施するための資金として募集した。

実施期間	金額（円）
令和5年12月1日～25日	911,826

(4) 国際人道法等の普及

ジュネーヴ諸条約（紛争時においての人道遵守）や赤十字基本原則の周知について、指導者を養成し、勉強会や研修会等を通じた普及活動に取り組んだ。

①国際人道法セミナーの実施

開催年月日	名称	内容	参加者（人）
令和 6 年 2 月 13 日	令和 5 年度新規採用職員就業前研修会	国際人道法（30 分）	6
令和 6 年 3 月 27 日	岐阜県支部職員対象勉強会	国際人道法研修（60 分）	10

- ・奉仕団基礎研修の中でミニ研修を実施（10 分×8 回）
- ・明治安田生命保険とのコラボ防災セミナーでチラシを配布（12 回）

②指導者の養成

国際人道法の重要性を理解し、世界の現状と人道法を普及するための知識を持った人材を養成している。本年の養成はできなかった。現在、県内各施設に計 8 名の指導者が在籍している。

（5）海外救援金の受付状況

海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災国の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動の資金として、募集した。

救援金名	件数	金額（円）
バングラデシュ南部避難民救援金	1	500
アフガニスタン人道危機救援金	17	11,949
ウクライナ人道危機救援金	363	4,529,626
2023 年トルコ・シリア地震救援金	97	4,537,703
2023 年アメリカ・ハワイ火災救援金	26	255,889
2023 年モロッコ地震救援金	29	663,357
2023 年リビア洪水救援金	17	184,700
2023 年アフガニスタン地震救援金	17	123,907
イスラエル・ガザ人道危機救援金	53	524,970
無指定海外救援金	5	225,111
合 計	625	11,057,712

（6）安否調査の実施

海外において消息不明になった日本人の安否や、海外から来日された方の安否調査を依頼により実施している。令和 5 年度は安否調査の依頼はなかった。

6 県内赤十字施設の運営と連携

(1) 医療施設の運営

①高山赤十字病院

○救急医療

飛騨地域唯一の三次救急医療機関として救命救急センターを運営し、救急車受入件数は昨年度を上回る年間 3,851 件となった。

○周産期医療

飛騨地域唯一の産科医と小児科医の体制整備のある地域周産期母子医療センターとして 265 件の分娩を実施した。

○「高山市と市内総合病院の連携に関する協定」の締結

高山市と当院および久美愛厚生病院の 3 者において安定的かつ持続可能な医療体制の構築と維持を目指して、大学と連携した地域ぐるみの人材育成、医療 DX を利用した医療提供体制の構築等について活動している。

○「東海環状・飛騨医療ネットワーク」の締結

岐阜大学附属病院、西濃厚生病院、中部国際医療センター及び当院の 4 者において、東海環状自動車道沿道及び飛騨地域の急性期医療を担う病院が協力し、医師確保・医師教育・医療機能連携・スマートホスピタル化等に向けて協議協力する体制を構築した。

○まちづくりの拠点

昨年創立 100 周年記念を迎えて、日頃の感謝を伝える形として市民向けのイベントを開催し、1,000 名を超える市民の参加が実現した。地域に必要とされる病院として、救急、周産期、がん医療などについて、子供をはじめとした老若男女への体験型広報が実現した。

○療養環境の向上

患者サービスの向上を目的として病院全館で Wi-Fi サービスを開始した。

○病院機能評価の認定

病院の質の向上のため、日本医療機能評価機構による機能評価を受審し、安全・安心と信頼の医療サービスの提供に努めている病院であるとして認定を受けた。

○能登半島地震の医療支援

発災翌日から直ちに災害救護チーム（DMAT）派遣し、令和 6 年 3 月地元への引継ぎを行うまでの間、日赤救護班、こころのケア班、医療コーディネーター班員延べ 48 名を派遣し被災地の医療支援活動を行った。

また、岐阜県内において初の福祉避難所として、附属老健施設「はなさと」において、1.5 次避難所からの被災高齢者等を 10 名受け入れ、現在も支援を継続している。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和 4 年度	199,242	100,861
令和 5 年度	200,083	104,791
前年度比	100.4%	103.9%

②岐阜赤十字病院

令和 4 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者を積極的に受け入れた。感染症分類が 5 類と変更された後も、月平均 20.1 名の入院患者を受け入れ、感染症指定医療機関としての役割を担った。

日常診療においては、昨年度末に整備した内視鏡手術支援ロボット「da Vinci」による手術を 5 月に 1 例目を実施、低侵襲かつ高度医療の提供を開始した。

同じく 5 月に電子カルテシステム及び周辺システムの更新を行った。電子カルテシステムはこれまでの N E C のシステムから富士通のシステムへ移行し、医療情報の一元管理や情報の共有化の再構築を行った。

岐阜県において実施されている地域医療構想調整会議で協議され、8 月に紹介受診重点医療機関として公表された。

創立 100 周年を記念し、地域住民の方々に向けに「ふれあいまつり」や「市民公開講座」を開催、地域の医療機関の方々を対象に「地域医療連携懇談会」を開催し、情報発信の機会とした。

令和 6 年 1 月 1 日に発災した令和 6 年能登半島地震において、3 月 31 日現在、「救護班」4 班、「医療コーディネートチーム」2 チーム、高山赤十字病院と合同で編成した「こころのケアチーム」1 チームを派遣、また、厚生労働省から本社を通じ依頼があった「病院支援」に 3 名の看護師を市立輪島病院へ派遣、赤十字病院としての使命を果たした。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和 4 年度	141,248	70,358
令和 5 年度	134,987	66,354
前年度比	95.57%	94.31%

(2) 血液事業の推進

令和 5 年度の事業運営にあたっては、特に若年層への献血の普及と推進を図るため、関係機関等と連携し各種イベントを開催した。

岐阜県と連携した「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」では、岐阜県出身の堀未央奈さんを起用した献血 PR 「献血いこうぜ！」をはじめとして、若年層献血者の確保に向け、記念品の配布や啓発ポスターの掲出、SNS への献血の動画広告の配信等を行った。

これにあわせて、令和5年3月に開設した新たな献血ルーム「岐阜献血ルームアクティブG」では、高校生の献血意欲向上を目的とした「献血で愛の花を咲かせよう」プロジェクトを、前献血ルームから引き継ぎ実施した。高校生が献血するたびに学校別の木に花を貼ることで、学校別の協力状況を見る化し、令和5年度は752人（前年度比265人増）の高校生に協力いただくことができた。

複数回の献血者を確保するため、献血Web会員サービス「ラブラッド」への会員登録の強化を図り、血液型を限定した献血依頼メールの配信やリアルタイムの要請を行い、輸血用血液の効果的確保に努めたほか、献血者の利便性向上のため、献血Web予約を推進し、待ち時間の削減を図った。

医療機関からの輸血用血液製剤の発注において、利便性向上及び過誤防止を図ることを目的に導入したWEB発注システムも、医療機関のご理解とご協力により、年度末には利用率96.8%となった。

① 献血の状況

区分	令和4年度	令和5年度	前年度比
200mL献血	2,251人	2,636人	117.1%
400mL献血	45,034人	45,442人	100.9%
成分献血	血漿	11,515人	11,802人
	血小板	7,856人	7,582人
計	66,656人	67,462人	101.2%

② 供給の状況

区分	令和4年度	令和5年度	前年度比
赤血球製剤	114,629単位	115,399単位	100.7%
血漿製剤	33,077単位	33,518単位	101.3%
血小板製剤	138,275単位	135,990単位	98.3%
計	285,981単位	284,907単位	99.6%

※1単位とは、200mL献血由来の製剤をいう。400mL献血由来は、2単位製剤となる。

※数値は、当センター供給エリアにおける単位数を示す。供給エリアの内訳は以下のとおり。

岐阜県: 東濃地区(多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市)を除く全域

愛知県: 一宮市、江南市、犬山市(一部)、扶桑町

(3) 赤十字施設間会議の開催

①支部施設業務連絡会議（2回）

開催日・会場	令和5年6月8日（木）OKBふれあい会館4階407小会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度研修実施計画について ・令和6年度新規採用職員募集及び試験について ・献血推進全国大会について

開催日・会場	令和6年2月8日（木）OKBふれあい会館4階407小会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度支部・施設 職員人事交流・異動について ・令和7年度新規採用事務について ・令和6年度研修実施計画について ・令和6年度採用者にかかる研修の実施について

②支部・施設事務（事業）部長連絡会議（1回）

開催日・会場	令和5年12月14日（木）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度職員採用試験（令和6年度採用者）の結果について ・令和6年度人事について（交流、新規採用） ・内定式の実施について（報告） ・令和6年度社長任命職員の人事について ・令和7年度職員採用について ・令和5年度階層別研修実施報告 ・令和6年度本社研修について（基幹幹部、中堅幹部、新規採用） ・令和6年度支部主催研修について

③人事交流・異動候補者調整会議（1回）

開催日・会場	令和6年1月12日（金）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度人事交流・異動候補者について ・令和6年度新規採用職員の配属について ・高山独自採用（総合職）にかかる研修の受講について

（4）監査及び予備調査の実施

日本赤十字社では、業務の管理及び執行並びに会計を監査するため外部監査法人による外部監査と、日本赤十字社監査室による内部監査が行われている。令和5年度は、10月に日本赤十字社の全支部・施設を対象に内部監査が、3月には岐阜赤十字病院にて外部監査が実施された。働き方改革による法改正で、時間外労働に上限規制が設けられたことを受け、内部監査では、長時間労働の是正状況について重点的に行われた。

また、岐阜県支部では、監査委員による監査のほか、同監査を補完するため、令和4年度及び5年度における会計及び事業の執行について、公認会計士等による予備調査を期中・期末に実施している。

いずれの監査においても、検出事項については、速やかに是正改善を行い報告した。今後も適正な業務遂行を図っていく。

①外部監査法人による会計監査（実地監査）

調査内容	①規程や会計処理マニュアルの運用状況の確認 ②内部統制の整備・運用状況の確認 (収益取引、財務取引、購買取引、棚卸資産取引・管理、固定資産取引・管理、人件費、決算に関する内部統制) ③会計方針の確認、会計処理に関する問題事項の把握 ④現物確認（現金、通帳、金庫の実査等）
------	---

②日本赤十字社監査室による内部監査（書面監査）

調査内容	長時間労働の是正状況について ①支部・施設所管部における支部・施設を指導、管理するための仕組みが構築され有効に機能されているか。 ②長時間労働が多い施設及び部門等における是正への具体的な取組み状況の確認。 ③長時間労働が発生していない施設及び部門等における是正への具体的な取組み状況の確認。
------	--

③監査委員による監査

対象施設名	監査日
岐阜県支部、高山赤十字病院	令和5年5月26日
岐阜赤十字病院、岐阜県赤十字血液センター	

④公認会計士等による予備調査

ア) 令和4年度事業に係る予備調査（実地監査）

施設名	期末予備調査実施日
岐阜県支部	令和5年5月8日
高山赤十字病院	令和5年4月21日
岐阜赤十字病院	令和5年4月20日
岐阜県赤十字血液センター	令和5年5月9日

イ) 令和5年度事業に係る予備調査

施設名	期中予備調査実施日
高山赤十字病院	令和5年10月30、31日
岐阜赤十字病院	令和5年11月1、2日

7 看護師の養成

(1) 赤十字看護師の養成

保健医療活動、災害救護活動など国内外で活躍できる優秀な看護師を養成するため、日本赤十字豊田看護大学岐阜県支部長推薦制度を設けて、看護師の養成を行った。

豊田看護大学在籍者

学年	養成数（人）
第1学年	1
第2学年	2
第3学年	3
第4学年	3
計	9

（令和6年3月31日現在）



日本赤十字豊田看護大学（愛知県豊田市）

(2) 学生確保のための活動

①入学説明会

岐阜県支部長推薦生の確保のため、県内高等学校進路指導担当教諭への説明会を次のとおり開催した。（岐阜地域の学校を対象）

開催日	令和5年7月5日（水）	・大学概要説明 ・令和6年度赤十字特別推薦選抜試験制度の説明 ・岐阜県支部長推薦入学生奨学金制度の説明 ・高山・岐阜赤十字病院の紹介
会場	日本赤十字社岐阜県支部	
参加者数	3人	

※高山地域においては、高等学校4校を訪問し、上記内容の説明を行った。

②合格者説明会

合格した岐阜県支部長推薦生を対象に、入学手続き等に関する説明会を実施した。また、支部長推薦生として病院に勤務している卒業生との交流会を行い、大学生活や就職についてのアドバイスをいただいた。

開催日	令和6年1月31日（水）
会場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	6人（合格者3人及びその保護者）

8 赤十字思想の普及・広報

(1) イベントの開催

赤十字思想の普及と日頃の活動を紹介するため、世界赤十字デーに合わせたライトアップ（レッドライトアッププロジェクト）や展示イベント等を開催した。

実施場所等	開催日
岐阜県庁舎、岐阜市役所、大垣市役所本庁舎東側 「キューブモニュメント」 (レッドライトアッププロジェクト)	令和5年5月8日
みんなの森 ぎふメディアコスモス、モレラ岐阜 (トルコ・シリア地震写真展)	令和5年8月30日～9月1日 令和5年9月8日～9月24日
カラフルタウン岐阜（岐阜市防災フェア/活動紹介）	令和5年10月14、15日
岐阜赤十字病院（ふれあいまつり／活動紹介）	令和5年11月11日

(2) 広報資材の作成と配布

①本社作成

資 材 名	部 数	
「赤十字NEWS」 (市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布)	4月号	1,300部
	5月号	1,700部
	6月号	1,300部
	7月号	1,300部
	8月号	1,300部
	9月号	1,450部
	10月号	1,400部
	11月号	1,450部
	12月号	1,300部
	R6.1月号	1,300部
	2月号	1,300部
	3月号	1,300部
ポスター（運動月間／ブランディング広報）	2,500部	
パンフレット	27,000部	

②支部作成

資 材 名	部 数			
「日赤ぎふ」（県内全世帯へ配布）	619,000 部			
「赤十字だより ぎふ」（広報紙） (市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布)	第 58 号（7月）	12,000 部	22,700 部	
	第 59 号（1月）	10,700 部		
ポケットタオル（ノベルティ）	2,500 枚			
クリアファイル（ノベルティ）	2,500 枚			
ハートラちゃんシール（ノベルティ）	4,000 枚			

（3）メディアを活用した広報展開

新聞紙面による広告掲載（運動月間）	中日新聞・岐阜新聞・朝日新聞	5月 7,8 日
岐阜放送テレビ CM放映	15秒スポット／1日 1回放送	5,6,10,11月
ぎふチャン ラジオCM放送	20秒フリースポット	4月～3月
J R 岐阜駅前大型ビジョンCM放映	15秒スポット／930回	5月
スマートフォンアプリ広告 Wallet+	1週間×4回	5,9,12月
路線バス車内ステッカー広告	東濃鉄道・北恵那交通・濃飛バス／計 58台	4月～3月
遺贈、相続財産等の WEB 広告		4月～3月
日本赤十字社岐阜県支部公式 YouTube チャンネル		4月～3月
高校生向け広報誌への広告掲載	岐阜新聞：高校ダイアリー春号	3月

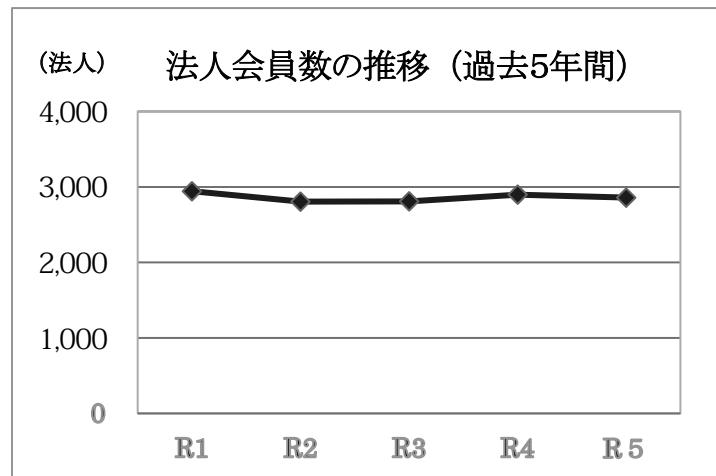
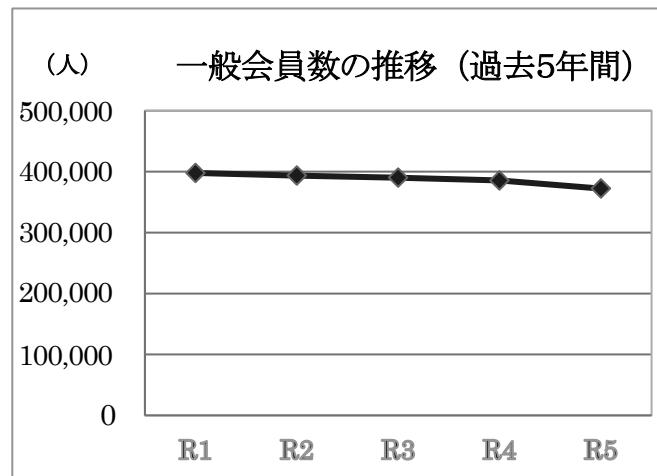
9 会員と活動資金

(1) 会員及び社資の状況

日本赤十字社の事業は、会員等からいただいた社資によって運営されており、会員及び社資の状況は次のとおりである。

① 会員の状況

区分 年度	一般会員数 (人)	一般協力 会員数(件)	一般計	法人会員数 (法人)	法人協力 会員数(件)	法人計
R1	491	397,410	397,901	394	2,550	2,944
R2	659	392,857	393,516	409	2,397	2,806
R3	754	389,390	390,144	477	2,332	2,809
R4	940	384,616	385,556	508	2,390	2,898
R5	1,039	371,200	372,239	503	2,356	2,859

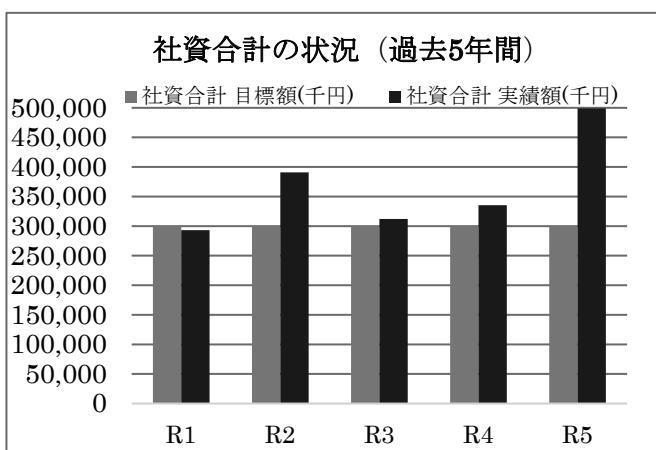
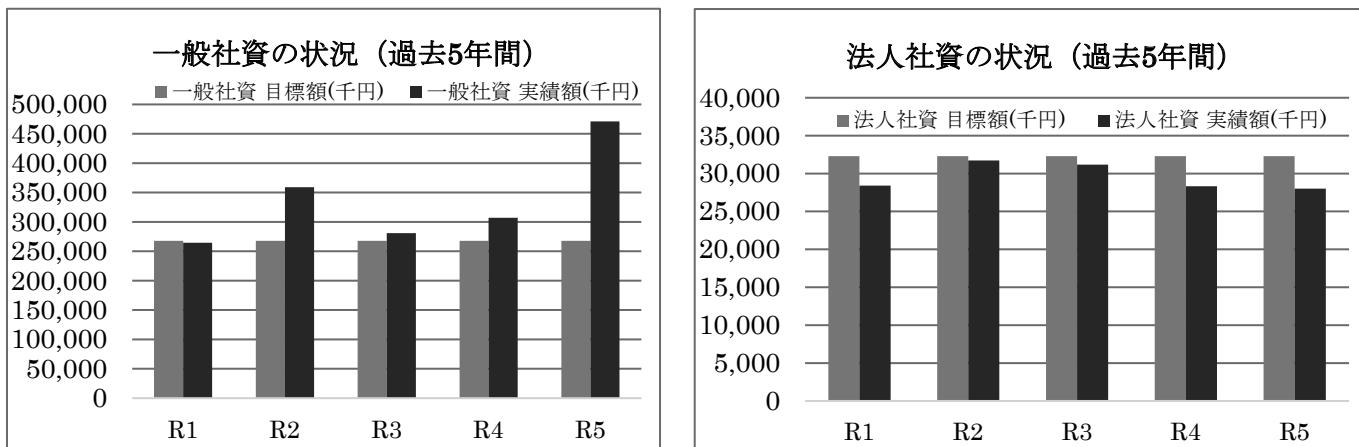


※会員・協力会員の合計

② 社資の募集状況

区分 年度	一般社資			法人社資			計		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
R1	267,700,000	264,651,764	98.9	32,300,000	28,409,645	88.0	300,000,000	293,061,409	97.7
R2	267,700,000	359,127,238	134.2	32,300,000	31,726,959	98.2	300,000,000	390,854,197	130.3
R3	267,700,000	280,930,430	104.9	32,300,000	31,180,417	96.5	300,000,000	312,110,847	104.0
R4	267,700,000	307,168,034	114.7	32,300,000	28,317,540	87.7	300,000,000	335,485,574	111.8
R5	267,700,000	471,070,398	175.9	32,300,000	28,008,773	86.7	300,000,000	499,079,171	166.3

※ 上記社資実績額には、一般指定事業社資収入扱いとなる海外救援金は含まれておりません。



(2) 会員の拡充強化

赤十字の目的に賛同し、運営に参画する会員の拡充を進めるためダイレクトメールの送付や、献血協力者や県内商工会議所を訪問し振込用紙付会員募集チラシを配布・配架した。

また、社会貢献のための遺贈・相続財産寄付の寄付先として日本赤十字社を広く周知するため、岐阜県司法書士会との連携を継続した。

【ダイレクトメール送付数】

	個人	法人	計
令和3年度	28	3,585	3,613
令和4年度	839	6,623	7,462
令和5年度	321	6,577	6,898

【会員募集チラシ配架・配布先】

岐阜県図書館	OK B ふれあい会館	ぎふ清流文化プラザ
岐阜メモリアルセンター	ソフトピアジャパン	ぎふメディアコスモス
セラミックパーク MINO	岐阜商工会議所	大垣商工会議所
各務原商工会議所	関商工会議所	恵那商工会議所
美濃加茂商工会議所	高山商工会議所	岐阜青年会議所
大垣青年会議所	各務原青年会議所	美濃加茂青年会議所
恵那青年会議所		

(3) 岐阜県赤十字有功会

①概況

岐阜県赤十字有功会は、社資功労による有功章を受章された個人・法人の方々が、日本赤十字社の活動を支援するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、平成 21 年 3 月 4 日に設立された任意の支援団体である。

【岐阜県赤十字有功会会員数】

	個人会員	法人会員	計
令和 4 年度	29	91	120
令和 5 年度	33	90	123

① 事業

ア) 総会の開催

日 時：令和 5 年 7 月 18 日（火）10 時～12 時 00 分
会 場：ホテルグランヴェール岐山 岐阜市柳ヶ瀬通 6-14
議 案：

- ・令和 4 年度事業並びに歳入歳出決算報告について
- ・令和 5 年度事業計画（案）並びに歳入歳出予算（案）について
- ・岐阜県赤十字有功会役員改選について

審議結果：各議案とも原案どおり承認
講 演：「献血の現状と課題・改善に向けた取組」
講演者 岐阜県赤十字血液センター 所長 高橋 健

イ) 有功会研修旅行の実施

日 時：令和 5 年 12 月 13 日（水）
場 所：福井県郷土歴史博物館
永平寺
参 加 者：有功会員 20 名 支部職員 4 名

ウ) 青少年赤十字加盟校への図書贈呈

子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的に、平成21年度から青少年赤十字加盟校へ図書を贈呈しており、新たに青少年赤十字に加盟した10の学校・園へ贈呈した。

(幼稚園・保育園6園、義務教育学校2校、高等学校2校)

贈呈式：令和6年2月17日(火)

会場：こじか幼稚園(岐阜市)

エ) 有功会誌の発行

「有功会ぎふ」を300部作成し事業の紹介、会員募集を実施した。

(4) 企業等とのパートナーシップ

社会貢献活動に意欲のある企業・団体を対象に、創立・周年を記念した寄付や寄付つき商品、株主優待、ポイントプログラムなどを活用し、赤十字活動との連携を進める。

①パートナー企業の状況

寄付つき商品や株主優待、ポイントプログラムとして、日本赤十字社への寄付を導入

導入企業	寄付金付自動販売機	25社
	株主優待	3社
	ポイント交換	1社

②カウンタープレートの配付

日本赤十字社の活動支援企業であることを表すカウンタープレートを法人会員、寄付金付き自動販売機設置先ならびに有功会法人会員へ配布

配布先	法人会員	452社
	有功会法人会員	91社
	寄付金付自動販売機設置先 (有功会員を除く)	24社

(5) 表彰

日本赤十字社への寄付や赤十字活動における顕著な功労者に対し表彰を行った。

【表彰の種類と件数】

功労区分	表彰区分	件数
社資功労（個人）	銀色有功章	32 件
	金色有功章	13 件
	社長感謝状	12 件
	厚生労働大臣感謝状	4 件
	紺綬褒章	0 件
社資功労（法人・団体）	銀色有功章	14 件
	金色有功章	11 件
	社長感謝状	4 件
	厚生労働大臣感謝状	0 件
	紺綬褒章	0 件
業務功労（個人、法人・団体）	銀色有功章	245 件
	金色有功章	127 件
	社長感謝状	1 件

※社資功労：社資累計額が 20 万円以上で
銀色有功章
社資累計額が 50 万円以上で
金色有功章
個人 100 万円以上、法人 300 万円
以上で厚生労働大臣感謝状
個人 500 万円以上、法人 1,000 万円
以上で紺綬褒章

業務功労：赤十字関係役職功労
奉仕団・奉仕団員継続活動功労
青少年赤十字加盟校継続活動功労
赤十字講習指導員継続活動功労
献血功労 等

【金色有功章：個人】



有功章記



有功章（男性） 有功章（女性） 略章

【金色有功章：法人・団体】



有功章（楯型）



略章

10 役員・評議員

(1) 岐阜県支部の組織

岐阜県支部の運営は、支部評議員会等の決定事項を踏まえ、各地区・分区の協力を得ながら行っている。評議員会、地区分区との主要会議の状況は次のとおりである。

①日本赤十字社及び岐阜県支部役員等の就任状況

P. 60～ 参照

②地区分区所在一覧

P. 65～ 参照

(2) 評議員会等の開催状況

①評議員会の開催状況

令和5年6月8日（木） 会場 OKB ふれあい会館 3階大会議室	
議題	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出決算について 3 日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について

令和6年2月8日（木） 会場 OKB ふれあい会館 3階大会議室	
議題	1 令和5年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出補正予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出予算について

②評議員会の開催状況（文書審議）

令和5年4月3日（月）
日本赤十字社代議員の選出について
日本赤十字社岐阜県支部監査委員の選出について
令和4年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算について（岐阜赤十字病院）

令和5年7月18日（火）
日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について

② 地区・分区担当課長ならびに担当者会議の開催状況

開催日	場所	出席者 (人)	説明内容
令和5年4月11日(火)	飛騨総合庁舎	9	
令和5年4月14日(金)	中濃総合庁舎	29	1 事業計画
令和5年4月17日(月)	大垣市総合福祉会館	30	2 組織振興関係事業
令和5年4月19日(水)	恵那総合庁舎	10	3 事業推進関係事業
令和5年4月25日(火)	岐阜県支部	18	

11 人材育成

(1) 職員研修の実施状況

支部及び県内赤十字施設職員の資質向上のため、本社、第3ブロック、支部が主催する各種研修へ職員を参加させ、人材育成を図った。

主催者	研修名	開催日	参加者 (人)
本社	中堅幹部職員養成研修（WEB）	【前半部】令和5年 9月1日 【後半部】 ①令和5年 9月 6日～8日 ② 9月 11日～13日 ③ 9月 25日～27日	5
	新規採用職員 2年目フォローアップ [®] 研修（WEB）	令和6年2月20日、21日	3
	e-ラーニング [®] 研修	令和5年5月～12月	13
ブロック	新任課長研修	令和5年10月26日、27日	4
	新任係長研修（WEB）	令和5年11月20日、21日	12
支部	クレームを回避する接遇研修 (中堅職員向け)	令和5年9月13日、14日 (各日2回開催)	41
	新規採用職員研修	令和5年4月5日～7日	5
	中堅職員研修（WEB）	令和5年11月8日、9日	9
	課長級職員研修（WEB）	令和5年11月15日、16日	7
	内定者研修（令和6年度採用）	令和5年11月7日	6
	新規採用職員就業前研修 (令和6年度採用)	令和6年2月13日、14日	6 (2)

※（ ）内は、高山赤十字病院独自採用者数を再掲

(2) 職員の採用状況

次世代の赤十字事業を担う優秀な職員を採用するため、岐阜県支部では、事務系一般職の合同採用試験を実施しており、令和5年度は次のとおり実施した。

①令和5年度新規職員採用試験実施状況（令和6年度採用者）

【1次募集】

試験名	開催日	合格者数 (名)	
新規職員採用試験 (令和6年度採用)	第1次試験 書類選考 課題提出	令和5年5月8日（月）～ 令和5年5月22日（月）	11
	第2次試験 筆記試験 適性検査 (Web試験)	令和5年6月3日（土）～ 令和5年6月7日（水）	8
	第3次試験 (グループディスカッション)	令和5年6月29日（木）	2
	第3次試験 (個人面接)	令和5年6月30日（金）	

【2次募集】

試験名	開催日	合格者数 (名)	
新規職員採用試験 (令和6年度採用)	第1次試験 書類選考 課題提出	令和5年8月28日（月）～ 令和5年9月15日（金）	8
	第2次試験 筆記試験 適性検査 (Web試験)	令和5年9月28日（木）～ 令和5年10月2日（月）	8
	第3次試験 (グループディスカッション)	令和5年10月12日（木）	2
	第3次試験 (個人面接)	令和5年10月13日（金）	

②令和 5 年度新規採用職員

施設名	新規採用職員配属数（名）
日本赤十字社岐阜県支部	1
高山赤十字病院	2
岐阜県赤十字血液センター	2

③令和 6 年度採用予定職員内定式

開催日	参加者数（名）
令和 5 年 11 月 7 日（火）	4

III 令和5年度
一般会計
歳入歳出決算報告

令和5年度 日本赤十字社岐阜県支部一般会計歳入歳出決算一覧表（令和4年度比較）

収入の部

科 目	R5年度決算額(円)	R4年度決算額(円)	比較増減(円)	主な増減理由(千円)
1. 社資収入	500,738,075	344,238,276	156,499,799	・遺贈等による大口寄付金収入があつたことによる増 ・個人住民税適用海外救援金の受け入れを行つたことによる増 〔 2023年トルコ・シリア地震救援金、2023年モロッコ地震救援金、 2023年リビア洪水救援金、2023年アフガニスタン地震救援金 計1,659千円 〕
3. 補助金及び交付金収入	4,960,069	5,383,061	△ 422,992	
5. 繼入金収入	1,658,904	8,752,702	△ 7,093,798	個人住民税適用海外救援金の受入額減少によるもの
10. 雜収入	1,952,863	1,684,951	267,912	
11. 前年度繰越金	56,939,313	68,616,806	△ 11,677,493	令和4年度のJRC創設100周年事業を災害等資金から資金を繰り入れずに対応したため
合 計	566,249,224	428,675,796	137,573,428	

支出の部

科 目	R5年度決算額(円)	R4年度決算額(円)	比較増減(円)	主な増減理由(千円)
1. 災害救護事業費	35,243,751	31,011,959	4,231,792	岐阜赤十字病院への救急車配備があつたことによる増 (780千円)
2. 社会活動費	53,626,102	107,798,453	△ 54,172,351	令和4年度はJRC創設100周年事業による加盟校へ図書贈呈を行つたため (図書贈呈額総額 56,025千円)
3. 国際活動費	3,758,904	10,852,702	△ 7,093,798	個人住民税適用海外救援金の受入額減少によるもの
4. 指定事業地方振興費	10,158,904	15,552,702	△ 5,393,798	個人住民税適用海外救援金の受入額減少によるもの
5. 地区分区交付金支出	47,102,873	49,810,073	△ 2,707,200	地区分区からの社資収入減少によるもの
6. 社業振興費	33,582,525	33,511,398	71,127	
7. 基盤整備交付金・補助金支出	10,638,863	7,998,441	2,640,422	病院への患者サービス向上支援交付金事業実施のため (6,700千円)
10. 積立金支出	176,415,522	16,720,918	159,694,604	遺贈等による大口寄付金収入があり、災害等資金に積立を行つたため (155,028千円)
12. 総務管理費	48,724,782	46,358,608	2,366,174	業務用PC (17台) の更新を行つたため (2,997千円)
13. 資産取得及び資産管理費	3,790,890	4,185,750	△ 394,860	
14. 本社送納金支出	72,213,475	47,935,479	24,277,996	遺贈等による大口寄付金収入があつたことによる増
15. 予備費	0	0	0	
合 計	495,256,591	371,736,483	123,520,108	

収入支出差引額	70,992,633	56,939,313	14,053,320	歳入歳出差引額70,992,633円は令和6年度へ繰越
---------	------------	------------	------------	-----------------------------

令和5年度 一般会計歳入歳出決算報告書

歳入

款	科 目 項	予 算 現 額		決算額	予算現額に 比し増減	内 訳
		当初予算額	補正予算額			
2. 支部収入	1. 社資収入	300,000,000	188,365,000	488,365,000	500,738,075	12,373,075
	1 一般社資収入					472,729,302
	(1) 会費収入					244,983,986
	(2) 寄付金等収入					217,586,412
	(3) 指定事業社資収入					10,158,904
	(4) 過年度一般社資収入					0
	2 法人社資収入					28,008,773
	(1) 指定事業社資収入					9,156,000
	(2) その他社資収入					18,852,773
	(3) 過年度法人社資収入					0
	3 極度扶助金及び交付金収入					942,069
	4,018,000	0	4,018,000	4,960,069		
	1 極度扶助金収入					1,014,089
	(2) 市町村補助金収入					1,014,089
	2 本社交付金収入					3,945,980
	(3) 管理経費調整交付金収入					764,428
	(4) 施設整備交付金収入					393,429
	(5) 障害者雇用促進事業助成金収入					0
	(6) その他本社交付金収入					2,788,123
	5 繰入金収入					
	4,000,000	0	4,000,000	1,658,904	△ 2,341,096	
	1 資金繰入金収入					1,658,904
	(2) 國際救援活動資金繰入金収入					1,658,904

科 款	目 項	予 算 現 領			決算額	予算現領に 比し増減	内 訳
		当初予算額	補正予算額	計			
10. 雜収入		1,434,000	0	1,434,000	円 1,952,863	518,863	円 1,226,778
						2 負担金収入 (1) 講習会等負担金収入	1,226,778
						3 雜収入 (4) 雜収入	726,085
11. 前年度繰越金		42,058,000	0	42,058,000	円 56,939,313	14,881,313	円 1 前年度繰越金
							56,939,313
歳 入 合 計		351,510,000	188,365,000	539,875,000	円 566,249,224	26,374,224	

出
歳

款	科 目 項	予算現額			決算額	不用額	内 訳
		当初予算額 円	補正予算額 円	流用増減額 円			
2. 支部費	1. 災害救護事業費	44,595,000	0	0	44,595,000	35,243,751	9,351,249
	1 災害救護指導事業費						8,944,615
	(1) 救護班指導費						1,509,751
	(2) 救助事業費						954,846
	(3) 救護業務管理費						6,480,018
	2 災害救護装備費						20,476,366
	(1) 装備費						19,870,465
	(2) 資材費						605,901
	3 非常災害救援物資整備費						97,372
	(1) 救援物資整備費						97,372
	5 救護看護師指導養成費						5,725,398
	(1) 養成費						5,725,398
	2. 社会活動費	68,011,000	0	68,011,000	53,626,102	14,384,898	
	1 救急法等普及費						12,446,428
	(1) 救急法等普及事業費						5,058,572
	(2) 救急法等指導管理費						7,387,856
	2 奉仕団活動費						12,454,960
	(1) 奉仕団指導育成費						6,930,749
	(2) 奉仕団研修費						227,782
	(3) 奉仕団活動管理費						5,296,429

款	科 目 項	予算現額			決算額	不用车 額	内 訳	
		当初予算額	補正予算額	流用増減額			計	
3 . 国際活動費	2,149,000	1,659,000	0	3,808,000	3,758,904	49,096	3	青少年赤十字活動費 (1) 青少年赤十字指導育成費 (2) 青少年赤十字研修費 (3) 青少年赤十字国際交流事業費 (4) 青少年赤十字活動管理費
4 . 指定事業地方振興費	8,700,000	1,659,000	0	10,359,000	10,158,904	200,096	1	国際救援活動費 (1) 国際救援事業費 (2) 国際開発協力事業費 (3) 國際活動諸費
5 . 地区分区交付金支出	50,074,000	0	0	50,074,000	47,102,873	2,971,127	1	指定事業地方振興費 (1) 災害救援設備整備費 (3) 採血受入機関整備費 (6) 支部国際活動基金積立金
6 . 社業振興費	39,163,000	0	0	39,163,000	33,582,525	5,580,475	1	社業振興費 (1) 社資募集及び会員管理費 (3) 社業振興業務管理費
							2	広報活動費 (1) 広報活動費 (2) 広報業務管理費

款	科 目 項	予算現額			決算額	不用額	内 訳
		当初予算額	補正予算額	流用増減額 計			
	7 . 基盤整備交付金・補助金支出	12,876,000	0	0	10,638,863	2,237,137	1 基盤整備交付金・補助金支出 (1) 医療施設基盤整備交付金支出 (2) 血液事業基盤整備交付金支出 42,863
	10 . 積立金支出	21,719,000	155,028,000	0	176,747,000	176,415,522	331,478
	12 . 総務管理費	55,618,000	0	0	55,618,000	48,724,782	6,893,218
							1 評議員会等諸費 (1) 評議員会等諸費 301,607
							2 総務管理費 (1) 総務費 (2) 業務費 (3) 保険料等負担金 (4) 管理費 45,829,530 9,173,551 2,408,777 14,296,411 19,950,791
							3 監査費 (1) 監査委員監査費 (2) 外部監査費 (3) その他諸費 2,593,645 14,045 599,600 1,980,000

款	科 目 項	予算現額				内 記
		当初予算額	補正予算額	流用増減額	計	
13. 資産取得及び資産管理費	4,410,000	0	0	4,410,000	円 3,790,890	円 619,110
						1 資産取得及び資産管理費 (1) 修繕費 (2) 損害保険料 (5) 備品費 (8) 管理諸費
14. 本社送納金支出	42,195,000	30,019,000	0	72,214,000	円 72,213,475	円 525
						1 本社送納金支出 (1) 本社送納金支出
15. 予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0	2,000,000
						1 予備費 0
歳 出 合 計	351,510,000	188,365,000	0	539,875,000	円 495,256,591	円 44,618,409

歳入歳出差引残額 70,992,633 円 (翌年度繰越額)

上記決算額のとおり相違ありません。

令和 6 年 3 月 31 日

日本赤十字社岐阜県支部 支部長 古田 肇

資 金 増 減 明 細 表

資金別	前年度未現在 額	増 (A)		減 (B)		差引額 ((A)-(B))	合和05年度 積立額 円	合和05年度 現在額 円	備考
		利子収入 円	差益金等 円	元本繰出額 円	利子繰出額 円				
災害等資金 国際救護活動資金	718,471,895	169,462					169,462	155,028,000	873,669,357
1. 國際救護活動資金 (社資収入)	21,373,545	426					426		21,373,971
2. 支部国際活動基金 (個人住民税控除適用)	0					0			0
3. 支部国際活動基金 <small>(個人住民税控除 適用海外救援金)</small>	0	0	1,658,904	0	0	-1,658,904	1,658,904	0	
							273,261	15,000,000	153,338,110
施設整備準備資金	138,064,849	273,261							
総合資金	0					0		0	
特別退職金積立留保金	0					0		0	
事業準備積立金	0					0		0	
計	877,910,289	443,149	0	1,658,904	0	-1,215,755	171,686,904	1,048,381,438	

<支部国際活動基金>
個人住民税控除適用海外救援金受け入れのため。
2023年トルコ・トリニア地震救援金(支部受付分: 725,420円、岐阜県在住者本社受付分: 340,384円)
2023年モロッコ地震救援金(支部受付分: 68,100円、岐阜県在住者本社受付分: 319,000円)
2023年リビア洪水救援金(支部受付分: 0円、岐阜県在住者本社受付分: 161,000円)
2023年アフガニスタン地震救援金(支部受付分: 20,000円、岐阜県在住者本社受付分: 25,000円)

元本繰出事由等

IV 令和5年度
岐阜県支部及び
施設概況

IV 令和5年度岐阜県支部及び施設概況

1 岐阜県支部の組織

(1) 日本赤十字社本社（岐阜県支部関係）役員名簿

役職名	氏名	公職名	就任年月日	退任年月日
理事 (1名)	水野 光二	瑞浪市長	平成 26年 4月 1日	
代議員 (4名)	柴橋 正直	岐阜市長	平成 30年 2月 24日	
	水野 光二	瑞浪市長	平成 26年 1月 29日	
	宇佐美晃三	大野町長	平成 31年 2月 14日	
	木村 健二	岐阜県有功会常任理事	令和 5年 4月 1日	

(2) 岐阜県支部役員名簿

役職名	氏名	公職名	就任年月日	退任年月日
支部長 (1名)	古田 肇	岐阜県知事	平成 17年 2月 6日	
副支部長 (3名)	尾関 健治	関市長	令和 4年 6月 1日	令和 5年 6月 7日
	柴橋 正直	岐阜市長	令和 5年 6月 7日	
	木野 隆之	輪之内町長	令和 3年 6月 1日	令和 5年 5月 31日
	金子 政則	八百津町長	令和 5年 6月 1日	
	堀 裕行	岐阜県健康福祉部長	令和 3年 4月 1日	令和 5年 7月 17日
	丹藤 昌治		令和 5年 7月 18日	
監査委員 (3名)	堀部 勉	美濃市副市長	令和 2年 4月 1日	令和 6年 3月 31日
	藤田 栄博	関ヶ原町副町長	令和 4年 4月 1日	
	一柳 秀樹	岐阜県地域福祉課長	令和 5年 4月 1日	令和 6年 3月 31日

(3) 岐阜県支部評議員名簿

氏名	選出区分	公職名	就任年月日	退任年月日
後藤 一郎	岐阜市地区	岐阜市副市長	令和4年4月1日	
大平 輝夫		岐阜市委員部委員長	平成29年7月14日	
神田 定夫		岐阜市委員部副委員長	平成29年5月23日	
高木 幹雄		岐阜市委員部理事	平成31年2月14日	
豊田 富士人	大垣市地区	大垣市副市長	令和4年6月21日	
清水 十三男		大垣市連合自治会連絡協議会副会長	令和4年6月20日	
西倉 良介	高山市地区	高山市副市長	平成22年10月1日	令和6年3月31日
佐藤 喜好	多治見市地区	多治見市副市長	平成26年4月1日	令和5年9月30日
鈴木 良平			令和5年10月1日	
山下 清司	関市地区	関市副市長	令和元年11月1日	令和5年8月3日
森川 哲也			令和5年11月1日	
渡邊 順	中津川市地区	中津川市副市長	令和3年1月4日	令和6年1月21日
堀部 勉	美濃市地区	美濃市副市長	令和2年4月1日	令和6年3月31日
勝 康弘	瑞浪市地区	瑞浪市副市長	平成22年4月1日	
石黒 恒雄	羽島市地区	羽島市副市長	令和3年4月1日	
大塩 康彦	恵那市地区	恵那市副市長	平成25年4月1日	
佐藤 文彦	美濃加茂市地区	美濃加茂市副市長	令和4年4月1日	
鶴見 直人	土岐市地区	土岐市副市長	令和元年5月8日	
今道 雄介	各務原市地区	各務原市副市長	令和5年4月1日	
可児 正則		各務原市民生委員児童委員協議会会长	令和元年12月1日	
高木 伸二	可児市地区	可児市副市長	平成27年4月1日	令和6年3月31日
久保田 裕司	山県市地区	山県市副市長	平成3年10月1日	
楫浦 要	瑞穂市地区	瑞穂市副市長	令和2年4月1日	
久富 和浩	本巣市地区	本巣市副市長	令和5年4月1日	令和6年3月31日
湯之下 明宏	飛騨市地区	飛騨市副市長	平成30年4月1日	令和6年3月31日
青木 修	郡上市地区	郡上市副市長	平成28年5月14日	
田口 広宣	下呂市地区	下呂市副市長	令和2年4月18日	
大江 雅彦	海津市地区	海津市副市長	令和3年9月6日	

氏名	選出区分	公職名	就任年月日	退任年月日
小島 英雄	岐阜地域地区	岐 南 町 長	令和 4 年 2 月 14 日	令和 6 年 3 月 5 日
西脇 康世	西濃地域地区	関 ゲ 原 町 長	平成 28 年 2 月 14 日	
堀 正		安 八 町 長	平成 25 年 2 月 14 日	令和 5 年 5 月 5 日
岡 田 立			令和 5 年 5 月 6 日	
岡崎 和夫	西濃地域揖斐地区	池 田 町 長	平成 17 年 3 月 6 日	
佐藤 光宏	加茂地域地区	川 迂 町 長	令和 4 年 2 月 14 日	
加納 福明		七 宗 町 長	令和 4 年 2 月 14 日	
成 原 茂	飛騨地域地区	白 川 村 長	平成 23 年 4 月 27 日	
長屋 光征	支 部 長	岐 阜 県 議 会	令和 4 年 5 月 10 日	令和 5 年 4 月 29 日
若井 敦子		厚 生 環 境 委 員 長	令和 5 年 5 月 9 日	
森 健 二		岐 阜 商 工 会 議 所 専 務 理 事	令和元 年 11 月 1 日	
後藤 東洋士		岐 阜 県 自 治 連 絡 協 議 会 会 長	令和元 年 7 月 19 日	
白木 美悠紀		岐 阜 県 赤 十 字 奉 仕 団 支 部 委 員 会 委 員 長	令和 3 年 4 月 1 日	
平山 義 浩		岐 阜 県 青 少 年 赤 十 字	令和 4 年 6 月 1 日	令和 5 年 6 月 5 日
大 藏 徹 哉		指 導 者 協 議 会 会 長	令和 5 年 6 月 6 日	
村瀬 幸 雄		岐 阜 県 赤 十 字 有 功 会 会 長	平成 25 年 12 月 27 日	

評議員の定数 (人)	
地区・地域地区選出	33
支部長選出	6
合計	39

(4) 岐阜県支部地区・分区長名簿

地区・分区名	公職名	氏名	就任年月日	退任年月日
岐阜市地区	岐 阜 市 長	柴 橋 正 直	平成 30 年 2 月 24 日	
大垣市地区	大 垣 市 長	石 田 仁	令和 3 年 4 月 22 日	
高山市地区	高 山 市 長	田 中 明	令和 4 年 9 月 4 日	
多治見市地区	多 治 見 市 長	古 川 雅 典	平成 19 年 4 月 30 日	令和 5 年 4 月 29 日
		高 木 貴 行	令和 5 年 4 月 30 日	
関 市 地 区	関 市 長	尾 関 健 治	平成 23 年 9 月 22 日	令和 5 年 9 月 21 日
		山 下 清 司	令和 5 年 9 月 22 日	
中津川市地区	中 津 川 市 長	青 山 節 児	平成 24 年 1 月 23 日	令和 6 年 1 月 21 日
		小 栗 仁 志	令和 6 年 1 月 22 日	
美濃市地区	美 濃 市 長	武 藤 鉄 弘	平成 26 年 1 月 26 日	
瑞浪市地区	瑞 浪 市 長	水 野 光 二	平成 19 年 7 月 27 日	
羽島市地区	羽 島 市 長	松 井 聰	平成 24 年 12 月 21 日	
恵那市地区	恵 那 市 長	小 坂 喬 峰	平成 28 年 11 月 28 日	
美濃加茂市地区	美濃加茂市長	藤 井 浩 人	令和 4 年 1 月 28 日	
土岐市地区	土 岐 市 長	加 藤 淳 司	平成 31 年 4 月 27 日	
各務原市地区	各 務 原 市 長	浅 野 健 司	平成 25 年 5 月 20 日	
可児市地区	可 児 市 長	富 田 成 輝	平成 22 年 1 月 7 日	
山県市地区	山 県 市 長	林 宏 優	平成 23 年 4 月 27 日	
瑞穂市地区	瑞 穂 市 長	森 和 之	令和元年 6 月 1 日	
飛騨市地区	飛 駒 市 長	都 竹 淳 也	平成 28 年 3 月 7 日	
本巣市地区	本 巢 市 長	藤 原 勉	平成 20 年 3 月 7 日	
郡上市地区	郡 上 市 長	日 置 敏 明	平成 20 年 4 月 11 日	
下呂市地区	下 呂 市 長	山 内 登	令和 2 年 4 月 18 日	
海津市地区	海 津 市 長	横 川 真 澄	令和 3 年 5 月 8 日	
岐阜地域地区	岐阜地域福祉事務所長	加 代 暉 尊	令和 5 年 4 月 1 日	
西濃地域地区	西 濃 県 事 務 所 長	西 哲 也	令和 5 年 4 月 1 日	
西濃地域揖斐地区	揖 斐 県 事 務 所 長	平 野 昌 彦	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
中濃地域地区	可 茂 県 事 務 所 長	平 井 實	令和 5 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
飛騨地域地区	飛 駒 県 事 務 所 長	小 島 光 則	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日

地区・分区名	公職名	氏名	就任年月日	退任年月日
岐南町分区	岐南町長	小島英雄	令和2年11月16日	令和6年3月5日
笠松町分区	笠松町長	古田聖人	令和元年6月29日	
北方町分区	北方町長	戸部哲哉	平成28年3月20日	
養老町分区	養老町長	川地憲元	令和4年12月15日	
垂井町分区	垂井町長	早野博文	平成31年4月27日	
関ヶ原町分区	関ヶ原町長	西脇康世	平成24年12月26日	
神戸町分区	神戸町長	藤井弘之	令和4年7月4日	
輪之内町分区	輪之内町長	木野隆之	平成19年6月24日	令和5年6月23日
		朝倉和仁	令和5年6月24日	
安八町分区	安八町長	堀正	平成23年5月26日	令和5年5月5日
		岡田立	令和5年5月6日	
揖斐川町分区	揖斐川町長	岡部栄一	令和2年11月20日	
大野町分区	大野町長	宇佐美晃三	平成22年3月1日	
池田町分区	池田町長	岡崎和夫	平成15年2月10日	
坂祝町分区	坂祝町長	柴山佳也	平成31年4月30日	
富加町分区	富加町長	板津徳次	平成24年6月2日	
川辺町分区	川辺町長	佐藤光宏	平成13年5月20日	
七宗町分区	七宗町長	加納福明	令和3年3月28日	
八百津町分区	八百津町長	金子政則	平成28年1月28日	
白川町分区	白川町長	佐伯正貴	令和4年8月23日	
東白川村分区	東白川村長	今井俊郎	平成26年4月23日	
御嵩町分区	御嵩町長	渡邊公夫	平成20年4月1日	令和5年7月4日
		渡辺幸伸	令和5年7月5日	
白川村分区	白川村長	成原茂	平成23年4月27日	

(5) 岐阜県支部地区・分区一覧表

地区分区名	所 在 地	所 属	電話番号
岐阜市地区	岐阜市都通 2 丁目 2 番地 岐阜市民福祉活動センター内	岐阜市社会福祉協議会 総務課 総務係（社資募集関係） 総務課 企画係（奉仕団関係）	058-255-5511
大垣市地区	大垣市丸の内 2 丁目 29 番地	大垣市役所 健康福祉部 社会福祉課	0584-81-4111
高山市地区	高山市花岡町 2 丁目 18 番地	高山市役所 福祉部 福祉課	0577-35-3356
多治見市地区	多治見市音羽町 1 丁目 233 番地	多治見市役所 福祉部 福祉課	0572-22-1111
関市地区	関市若草通 2 丁目 1 番地	関市社会福祉協議会 総務・地域福祉課	0575-22-0372
中津川市地区	中津川市かやの木町 2 番 5 号 中津川市健康福祉会館内	中津川市役所 市民福祉部 社会福祉課	0573-66-1111
美濃市地区	美濃市 1350 番地	美濃市役所 民生部 福祉子ども課	0575-33-1122
瑞浪市地区	瑞浪市上平町 1 丁目 1 番地	瑞浪市役所 民生部 社会福祉課	0572-68-2111
羽島市地区	羽島市竹鼻町 55 番地	羽島市役所 健幸福祉部 高齢福祉課	058-392-1111
恵那市地区	恵那市長島町正家 1 丁目 1 番地 1	恵那市役所 医療福祉部 社会福祉課	0573-26-2111
美濃加茂市地区	美濃加茂市新池町 3 丁目 4 番 1 号	美濃加茂市社会福祉協議会 地域福祉係	0574-28-6111
土岐市地区	土岐市土岐津町土岐口 2101 番地	土岐市役所 健康福祉部 福祉課	0572-54-1111
各務原市地区	各務原市那加桜町 1 丁目 69 番地	各務原市役所 健康福祉部 福祉政策課	058-383-1111
可児市地区	可児市今渡 682 番地 1	可児市社会福祉協議会 地域係	0574-62-1555
山県市地区	山県市高木 1000 番地の 1	山県市役所 福祉課（社資募集関係）	0581-22-6837
	山県市東深瀬 696 番地 1	山県市社会福祉協議会 事務局（奉仕団関係）	0581-23-1211
瑞穂市地区	瑞穂市別府 1283 番地 総合センター内	瑞穂市役所 健康福祉部 地域福祉高齢課	058-327-4126
飛騨市地区	飛騨市古川町若宮 2 丁目 1 番 60 号 ハートピア古川内	飛騨市役所 市民福祉部 地域包括ケア課	0577-73-6233
本巣市地区	本巣市下真桑 1000 番地	本巣市役所 健康福祉部 福祉敬愛課	058-323-7754
郡上市地区	郡上市八幡町島谷 228 番地	郡上市役所 健康福祉部 社会福祉課（防災関係）	0575-67-1121
	郡上市大和町徳永 585 番地	郡上市社会福祉協議会 地域福祉課 (社資募集関係) (奉仕団関係)	0575-88-9988
下呂市地区	下呂市萩原町萩原 1166 番地 8 星雲会館内	下呂市役所 福祉部 社会福祉課	0576-52-3936
海津市地区	海津市海津町高須 515	海津市役所 健康福祉部 社会福祉課	0584-53-1139
岐阜地域地区	岐阜市薮田南 5 丁目 14 番 53 号 OKB ふれあい会館第 2 棟 4 階	岐阜地域福祉事務所 福祉課 地域福祉第一係	058-272-1930
西濃地域地区	大垣市江崎町 422 番地の 3	西濃県事務所 福祉課	0584-73-1111
西濃地域揖斐地区	揖斐郡揖斐川町上南方 1 の 1	揖斐県事務所 福祉課	0585-23-1111
可茂地域地区	美濃加茂市古井町下古井 2610-1	可茂県事務所 福祉課	0574-25-3111
飛騨地域地区	高山市上岡本町 7 丁目 468 番地	飛騨県事務所 福祉課	0577-33-1111

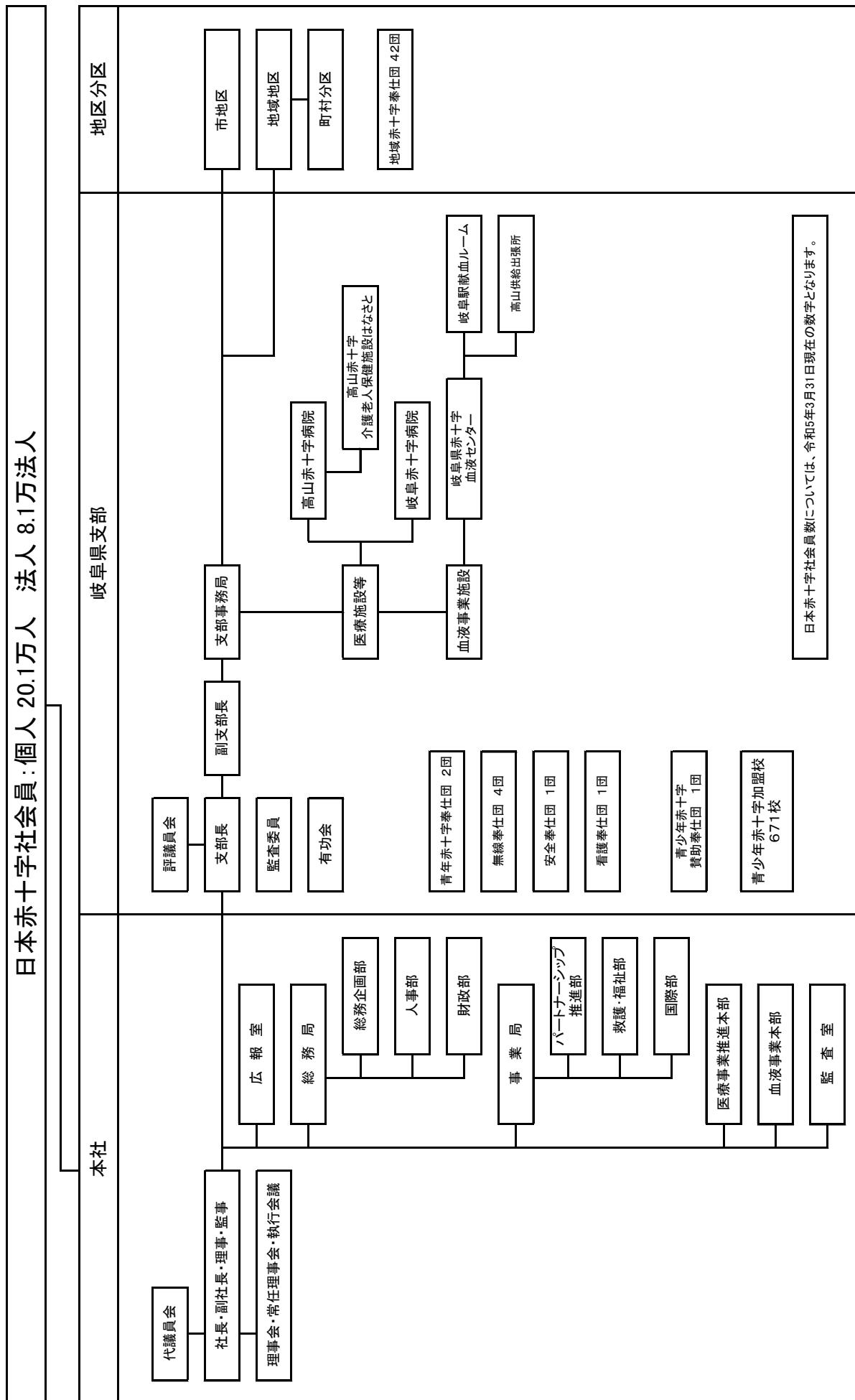
地区分区名	所 在 地	所 属	電話番号
岐南町分区	羽島郡岐南町八剣 7 丁目 107 番地	岐南町役場 福祉部 福祉課	058-247-1331
笠松町分区	羽島郡笠松町東陽町 44 番地の 1	笠松町役場 住民福祉部 笠松町福祉会館	058-387-1121
養老町分区	養老郡養老町高田 79 番地の 2	養老町社会福祉協議会 事務局	0584-34-3504
垂井町分区	不破郡垂井町 1305 番地の 2	垂井町社会福祉協議会 事務局	0584-23-3335
関ヶ原町分区	不破郡関ヶ原町大字関ヶ原 2490 番地の 29 国保関ヶ原診療所北棟 1 階	関ヶ原町社会福祉協議会	0584-43-2943
神戸町分区	安八郡神戸町大字神戸 1111 番地	神戸町役場 民生部 健康福祉課	0584-27-3111
輪之内町分区	安八郡輪之内町四郷 2530 番地の 1	輪之内町役場 福祉課	0584-69-3111
安八町分区	安八郡安八町南今ヶ渕 400 番地 安八町中央公民館 2 階	安八町社会福祉協議会	0584-47-7704
揖斐川町分区	揖斐郡揖斐川町三輪 133 番地	揖斐川町役場 住民福祉部 健康福祉課 (社資募集関係)	0585-22-2111
	揖斐郡揖斐川町上南方 193	揖斐川町社会福祉協議会(奉仕団関係)	0585-23-0411
大野町分区	揖斐郡大野町大字大野 80 番地	大野町役場 民生部 福祉課 (奉仕団関係)	0585-34-1111
	揖斐郡大野町大字大野 80 番地	大野町社会福祉協議会 地域福祉係 (社資募集関係)	0585-34-2130
池田町分区	揖斐郡池田町六之井 1468 番地の 1	池田町役場 民生部 健康福祉課	0585-45-3111
北方町分区	本巣郡北方町長谷川 1 丁目 1 番地	北方町役場 福祉子ども課	058-323-1119
坂祝町分区	加茂郡坂祝町取組 46-18	坂祝町役場 福祉課	0574-26-7111
富加町分区	加茂郡富加町滝田 1381 番地 1	富加町社会福祉協議会 事務局	0574-54-1312
川辺町分区	加茂郡川辺町中川辺 1518 番地 4	川辺町役場 健康福祉課	0574-53-2511
七宗町分区	加茂郡七宗町神渕 10327 番地 1	七宗町社会福祉協議会	0574-46-1294
八百津町分区	加茂郡八百津町八百津 3903 番地 2	八百津町役場 健康福祉課 (社資募集関係)	0574-43-2111
	加茂郡八百津町八百津 3836 番地 3	八百津町社会福祉協議会(奉仕団関係)	0574-43-4462
白川町分区	加茂郡白川町河岐 1645 番地 1 白川町民会館内	白川町役場 保健福祉課 (社資募集関係)	0574-72-2317
	加茂郡白川町三川 2065 番地 2	白川町社会福祉協議会 地域福祉課 (奉仕団関係)	0574-72-2327
東白川村分区	加茂郡東白川村神土 548 番地	東白川村役場 村民課	0574-78-3111
御嵩町分区	可児郡御嵩町御嵩 1239 番地 1	御嵩町役場 民生部 福祉課	0574-67-2111
白川村分区	大野郡白川村鳩谷 517 番地	白川村役場 村民課	05769-6-1311

2 施設概況

日本赤十字社岐阜県支部	 <p>〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9 TEL (058)272-3561 FAX(058)274-6938</p>	施設長名	支部長 古田 肇
		職員数	12 人
高山赤十字病院	 <p>〒506-8550 高山市天満町 3-11 TEL (0577)32-1111 FAX(0577)34-4155</p>	施設長名	病院長 竹中 勝信
		職員数	813 人
		病床数	394 床
		診療科	内科 呼吸器科 消化器科 循環器内科 血液内科 精神科(心療内科) 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 リハ ビリテーション科 麻酔科 歯科口腔外科 病理診断科
岐阜赤十字病院	 <p>〒502-8511 岐阜市岩倉町 3-36 TEL (058)231-2266 FAX(058)233-7772</p>	施設長名	病院長 林 昌俊
		職員数	575 人
		病床数	311 床
		診療科	総合内科・リウマチ科 消化器内科 循環器 内科 呼吸器内科 甲状腺・糖尿病内科 血 液内科 脳神経内科 腎臓内科 小児科 外 科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦 人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 甲状腺外 科 麻酔科 リハビリテーション科 精神科 放射線科 感染症科 内視鏡科 病理診断科
岐阜県赤十字血液センター	 <p>〒500-8269 岐阜市茜部中島 2-10 TEL (058)272-6911 FAX(058)275-2545</p>	施設長名	所長 高橋 健
		職員数	103 人
		出張所	岐阜駅出張所 (岐阜献血ルーム アクティブG) 〒500-8856 岐阜市橋本町 1-10-1 アクティブ G 2 階 TEL(058)264-2122 高山供給出張所 〒506-0807 高山市三福寺町 535-2 TEL(0577)37-0150

3 日本赤十字社の機構(令和6年3月31日現在)

日本赤十字社員個人 20.1万人 法人 8.1万法人



日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命		わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。																															
1949年のジュネーブ四条約締約国		196カ国																															
1. 沿革		明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立 明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称 昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定																															
2. 名誉総裁・名誉副総裁		名 誉 総 裁 皇 后 陛 下 名 誉 副 総 裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下																															
3. 会 員		個人 20.1万人 (令和5年3月31日現在) 法人 8.1万法人																															
4. 評議員		2,004人																															
5. 代議員		223人																															
6. 役員		社 長 清家 篤(常勤) 副社長 鈴木 俊彦(常勤) 十倉 雅和(非常勤) 理 事 61人(常勤5人、非常勤58人) 監 事 3人(常勤1人、非常勤2人)																															
7. 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)		<table border="1"> <tbody> <tr><td>幼稚園・保育所等</td><td>1,780校</td><td>147,304人</td></tr> <tr><td>小 学 校</td><td>7,099校</td><td>1,947,234人</td></tr> <tr><td>中 学 校</td><td>3,459校</td><td>973,227人</td></tr> <tr><td>高 等 学 校</td><td>1,753校</td><td>370,874人</td></tr> <tr><td>特 別 支 援 学 校</td><td>210校</td><td>20,279人</td></tr> <tr><td>そ の 他</td><td>137校</td><td>35,237人</td></tr> <tr><td>計</td><td>14,438校</td><td>3,494,155人</td></tr> <tr><td>指 導 者</td><td>288,355人</td><td></td></tr> </tbody> </table>		幼稚園・保育所等	1,780校	147,304人	小 学 校	7,099校	1,947,234人	中 学 校	3,459校	973,227人	高 等 学 校	1,753校	370,874人	特 別 支 援 学 校	210校	20,279人	そ の 他	137校	35,237人	計	14,438校	3,494,155人	指 導 者	288,355人							
幼稚園・保育所等	1,780校	147,304人																															
小 学 校	7,099校	1,947,234人																															
中 学 校	3,459校	973,227人																															
高 等 学 校	1,753校	370,874人																															
特 別 支 援 学 校	210校	20,279人																															
そ の 他	137校	35,237人																															
計	14,438校	3,494,155人																															
指 導 者	288,355人																																
8. 赤十字ボランティア(令和5年3月31日現在)		<table border="1"> <tbody> <tr><td>地域赤十字奉仕団</td><td>2,088団</td><td>806,027人</td></tr> <tr><td>青年赤十字奉仕団</td><td>150団</td><td>5,111人</td></tr> <tr><td>特殊赤十字奉仕団</td><td>622団</td><td>28,566人</td></tr> <tr><td>個人ボランティア等</td><td>-</td><td>11,130人</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,860団</td><td>850,834人</td></tr> </tbody> </table>		地域赤十字奉仕団	2,088団	806,027人	青年赤十字奉仕団	150団	5,111人	特殊赤十字奉仕団	622団	28,566人	個人ボランティア等	-	11,130人	計	2,860団	850,834人															
地域赤十字奉仕団	2,088団	806,027人																															
青年赤十字奉仕団	150団	5,111人																															
特殊赤十字奉仕団	622団	28,566人																															
個人ボランティア等	-	11,130人																															
計	2,860団	850,834人																															
9. 救急法等の講習		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">資格登録者数(令和5年3月31日現在)</th><th>受講者数(令和4年度)</th></tr> <tr><th>指導者</th><th>救急員等</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>救急法基礎講習</td><td>10,765人</td><td>273,336人</td></tr> <tr><td>救 急 法</td><td>6,827人</td><td>148,147人</td></tr> <tr><td>水 上 安 全 法</td><td>1,465人</td><td>11,361人</td></tr> <tr><td>雪 上 安 全 法</td><td>203人</td><td>1,220人</td></tr> <tr><td>幼 児 安 全 法</td><td>2,270人</td><td>21,988人</td></tr> <tr><td>健康生活支援講習</td><td>1,709人</td><td>15,349人</td></tr> <tr><td>計</td><td>23,239人</td><td>471,401人</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>402,855人</td></tr> </tbody> </table>		資格登録者数(令和5年3月31日現在)		受講者数(令和4年度)	指導者	救急員等		救急法基礎講習	10,765人	273,336人	救 急 法	6,827人	148,147人	水 上 安 全 法	1,465人	11,361人	雪 上 安 全 法	203人	1,220人	幼 児 安 全 法	2,270人	21,988人	健康生活支援講習	1,709人	15,349人	計	23,239人	471,401人			402,855人
資格登録者数(令和5年3月31日現在)		受講者数(令和4年度)																															
指導者	救急員等																																
救急法基礎講習	10,765人	273,336人																															
救 急 法	6,827人	148,147人																															
水 上 安 全 法	1,465人	11,361人																															
雪 上 安 全 法	203人	1,220人																															
幼 児 安 全 法	2,270人	21,988人																															
健康生活支援講習	1,709人	15,349人																															
計	23,239人	471,401人																															
		402,855人																															
10. 看護師等の教育		<table border="1"> <thead> <tr><th>施設数</th><th>一学年養成定員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>大学(大学院併設)</td><td>看護師 16校 1,145人</td></tr> <tr><td>短期大学</td><td>助産師 6校 88人</td></tr> <tr><td>看護専門学校</td><td>保健師 6校 149人</td></tr> <tr><td>助産師学校</td><td>幹部看護師 1校 120人</td></tr> <tr><td>幹部看護師研修センター</td><td>介護福祉士 1校 30人</td></tr> <tr><td>計</td><td>19</td></tr> </tbody> </table>		施設数	一学年養成定員	大学(大学院併設)	看護師 16校 1,145人	短期大学	助産師 6校 88人	看護専門学校	保健師 6校 149人	助産師学校	幹部看護師 1校 120人	幹部看護師研修センター	介護福祉士 1校 30人	計	19																
施設数	一学年養成定員																																
大学(大学院併設)	看護師 16校 1,145人																																
短期大学	助産師 6校 88人																																
看護専門学校	保健師 6校 149人																																
助産師学校	幹部看護師 1校 120人																																
幹部看護師研修センター	介護福祉士 1校 30人																																
計	19																																
11. 国際活動		<table border="1"> <tbody> <tr><td>国際救援・開発要員派遣(令和4年度)</td><td>16カ国 のべ61人</td></tr> <tr><td>国際赤十字・赤新月社連盟出向</td><td>2人(イスラ、マレーシア)</td></tr> <tr><td>国際活動費(令和4年度)</td><td>78億円</td></tr> </tbody> </table>		国際救援・開発要員派遣(令和4年度)	16カ国 のべ61人	国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(イスラ、マレーシア)	国際活動費(令和4年度)	78億円																								
国際救援・開発要員派遣(令和4年度)	16カ国 のべ61人																																
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(イスラ、マレーシア)																																
国際活動費(令和4年度)	78億円																																
12. 国内災害救護		<table border="1"> <tbody> <tr><td>救護員数</td><td>8,077人(常備救護班要員を含む)</td></tr> <tr><td>常備救護班</td><td>487班 5,231人</td></tr> <tr><td>無線局</td><td>(令和5年3月31日現在) 3,130局</td></tr> <tr><td>救護車両</td><td>2,206台</td></tr> <tr><td>赤十字飛行隊(特殊奉仕団)</td><td>99人</td></tr> <tr><td>災害における救護員出動数(令和4年度)</td><td>244人</td></tr> <tr><td>救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)</td><td>11,314個</td></tr> <tr><td>令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)</td><td>6億2,424万3,358円</td></tr> </tbody> </table>		救護員数	8,077人(常備救護班要員を含む)	常備救護班	487班 5,231人	無線局	(令和5年3月31日現在) 3,130局	救護車両	2,206台	赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	99人	災害における救護員出動数(令和4年度)	244人	救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)	11,314個	令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)	6億2,424万3,358円														
救護員数	8,077人(常備救護班要員を含む)																																
常備救護班	487班 5,231人																																
無線局	(令和5年3月31日現在) 3,130局																																
救護車両	2,206台																																
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	99人																																
災害における救護員出動数(令和4年度)	244人																																
救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)	11,314個																																
令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)	6億2,424万3,358円																																
13. 医療事業		<table border="1"> <thead> <tr><th>施設数</th></tr> <tr><th>病院</th><th>診療所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>91</td><td>5</td></tr> <tr><td>老人保健施設</td><td>4</td></tr> <tr><td>介護医療院</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th>病床総数</th><th>(令和5年3月31日現在)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>34,777床</td><td>1日平均</td></tr> <tr><td>総患者数(令和4年度)</td><td>951万人</td></tr> <tr><td>入院</td><td>2.6万人</td></tr> <tr><td>外来</td><td>6.5万人</td></tr> </tbody> </table>		施設数	病院	診療所	91	5	老人保健施設	4	介護医療院	5	病床総数	(令和5年3月31日現在)	34,777床	1日平均	総患者数(令和4年度)	951万人	入院	2.6万人	外来	6.5万人											
施設数																																	
病院	診療所																																
91	5																																
老人保健施設	4																																
介護医療院	5																																
病床総数	(令和5年3月31日現在)																																
34,777床	1日平均																																
総患者数(令和4年度)	951万人																																
入院	2.6万人																																
外来	6.5万人																																
14. 血液事業		<table border="1"> <thead> <tr><th>施設数</th></tr> <tr><th>地域血液センター</th><th>7</th></tr> <tr><th>附属施設</th><th>4</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>47</td><td>ブロック血液センター</td></tr> <tr><td>169</td><td>附属施設(製造所)</td></tr> <tr><td>(献血ルーム116を含む)</td><td>分室 1</td></tr> <tr><td>献血者数(令和4年度)</td><td>供給本数(令和4年度)</td></tr> <tr><td>成分献血 158万人</td><td>輸血用製剤 1,724万本</td></tr> <tr><td>400mL献血 330万人</td><td>車両台数(令和5年3月31日現在)</td></tr> <tr><td>200mL献血 12万人</td><td>献血運搬車 769台</td></tr> <tr><td>計 501万人</td><td>移動採血車 282台</td></tr> </tbody> </table>		施設数	地域血液センター	7	附属施設	4	47	ブロック血液センター	169	附属施設(製造所)	(献血ルーム116を含む)	分室 1	献血者数(令和4年度)	供給本数(令和4年度)	成分献血 158万人	輸血用製剤 1,724万本	400mL献血 330万人	車両台数(令和5年3月31日現在)	200mL献血 12万人	献血運搬車 769台	計 501万人	移動採血車 282台									
施設数																																	
地域血液センター	7																																
附属施設	4																																
47	ブロック血液センター																																
169	附属施設(製造所)																																
(献血ルーム116を含む)	分室 1																																
献血者数(令和4年度)	供給本数(令和4年度)																																
成分献血 158万人	輸血用製剤 1,724万本																																
400mL献血 330万人	車両台数(令和5年3月31日現在)																																
200mL献血 12万人	献血運搬車 769台																																
計 501万人	移動採血車 282台																																
15. 社会福祉事業		<table border="1"> <thead> <tr><th>児童福祉施設数(定員)</th></tr> <tr><th>乳児院</th><th>3(286)</th></tr> <tr><th>保育所</th><th>3(348)</th></tr> <tr><th>児童養護施設</th><th>1(40)</th></tr> </thead> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th>老人福祉施設数(定員)</th></tr> <tr><th>特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)</th><th>8(773)</th></tr> <tr><th>障害者福祉施設数(定員)</th><th>複合型施設 1(定員)</th></tr> <tr><th>障害者支援施設</th><th>特別養護老人ホーム(110)</th></tr> <tr><th>視聴覚障害者情報提供施設</th><th>介護老人保健施設(100)</th></tr> <tr><th>補装具製作施設</th><th>高齢者グループホーム(18)</th></tr> <tr><td></td><td>障害者支援施設(10)</td></tr> </thead> </table>		児童福祉施設数(定員)	乳児院	3(286)	保育所	3(348)	児童養護施設	1(40)	老人福祉施設数(定員)	特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)	障害者福祉施設数(定員)	複合型施設 1(定員)	障害者支援施設	特別養護老人ホーム(110)	視聴覚障害者情報提供施設	介護老人保健施設(100)	補装具製作施設	高齢者グループホーム(18)		障害者支援施設(10)										
児童福祉施設数(定員)																																	
乳児院	3(286)																																
保育所	3(348)																																
児童養護施設	1(40)																																
老人福祉施設数(定員)																																	
特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)																																
障害者福祉施設数(定員)	複合型施設 1(定員)																																
障害者支援施設	特別養護老人ホーム(110)																																
視聴覚障害者情報提供施設	介護老人保健施設(100)																																
補装具製作施設	高齢者グループホーム(18)																																
	障害者支援施設(10)																																
16. 職員数(施設数)		<table border="1"> <tbody> <tr><td>本社(1)</td><td>職員数 538人</td></tr> <tr><td>支部(47)</td><td>721人</td></tr> <tr><td>医療事業(116)</td><td>59,091人</td></tr> <tr><td>血液事業(228)</td><td>5,819人</td></tr> <tr><td>社会福祉事業(28)</td><td>1,234人</td></tr> <tr><td>計</td><td>67,403人</td></tr> </tbody> </table>		本社(1)	職員数 538人	支部(47)	721人	医療事業(116)	59,091人	血液事業(228)	5,819人	社会福祉事業(28)	1,234人	計	67,403人																		
本社(1)	職員数 538人																																
支部(47)	721人																																
医療事業(116)	59,091人																																
血液事業(228)	5,819人																																
社会福祉事業(28)	1,234人																																
計	67,403人																																
17. 会計(令和5年度当初予算)		<table border="1"> <tbody> <tr><td>一般会計</td><td>本社 147億8千万円</td></tr> <tr><td></td><td>支部 211億8千万円</td></tr> <tr><td>医療施設特別会計</td><td>1兆1,940億7千万円</td></tr> <tr><td>血液事業特別会計</td><td>1,630億2千万円</td></tr> <tr><td>社会福祉施設特別会計</td><td>159億4千万円</td></tr> </tbody> </table>		一般会計	本社 147億8千万円		支部 211億8千万円	医療施設特別会計	1兆1,940億7千万円	血液事業特別会計	1,630億2千万円	社会福祉施設特別会計	159億4千万円																				
一般会計	本社 147億8千万円																																
	支部 211億8千万円																																
医療施設特別会計	1兆1,940億7千万円																																
血液事業特別会計	1,630億2千万円																																
社会福祉施設特別会計	159億4千万円																																

(特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在)

赤十字は、 動いてる！

あなたと想いをひとつにして。

災害、紛争、貧困や感染症…
多くの人を苦しめる人道危機は、
世界中でますます深刻化しています。
幸せな生活を理不尽に奪われ、
傷つき苦しんでいる人たちを救いたい。
あなたのその想いを担って、
赤十字は今日も明日も活動を続けます。
いかなる状況下でも、
人のいのちと健康と尊厳は、
守られなければならない。
365日とぎれることのない救護と支援は、
あなたと赤十字のアクションです。



**TEAM
SAVE 365** 一緒になら、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字講習会のご案内

生命と健康を守り、安全で心豊かな生活を営んでいただくために、初めての方にもわかりやすい実技指導を交えた各種講習を行います。

救急法



思ひぬ事故・災害にあった人や急病人を医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当の方法を学びます。

.....
＜講習内容＞

心肺蘇生法・AED の取扱い・急病、きずの手当・包帯法・搬送法等

水上安全法



水の事故を防止するための知識や自分の身を守るための泳ぎ方、溺れた人の救助の仕方、応急手当の方法を学びます。

.....
＜講習内容＞

水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、溺れた人の救助と応急手当等

健康生活支援講習



高齢社会と共に支え合うことができるよう、健やかな高齢期を過ごすための健康管理、地域での高齢者支援、自立を目指した介護の方法を学びます。

.....
＜講習内容＞

高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援、日常生活における介護

幼児安全法



子どもが健康で安全に育つことを願って、子どもを社会全体で大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、子どもの病気と看病のしかたなどを学びます。

.....
＜講習内容＞

子どもについて、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、乳幼児の一次救命処置、子どもの病気と看病のしかた

防災セミナー



防災の意識を高め、防災・減災に関する知識・技術を学びます。

.....
＜講習内容＞

災害への備え、災害エスノグラフィー、災害図上訓練 (DIG) など

ご希望の日時・会場に講師を派遣します！！

職場やサークルなどの集まりで、仲間同士でお気軽にお申し込みください。

ご希望のところへ、いつでも、どこへでもお伺いします。

【お問い合わせ・お申込みについては】

日本赤十字社岐阜県支部

TEL : 058-272-3561 / FAX : 058-274-6938